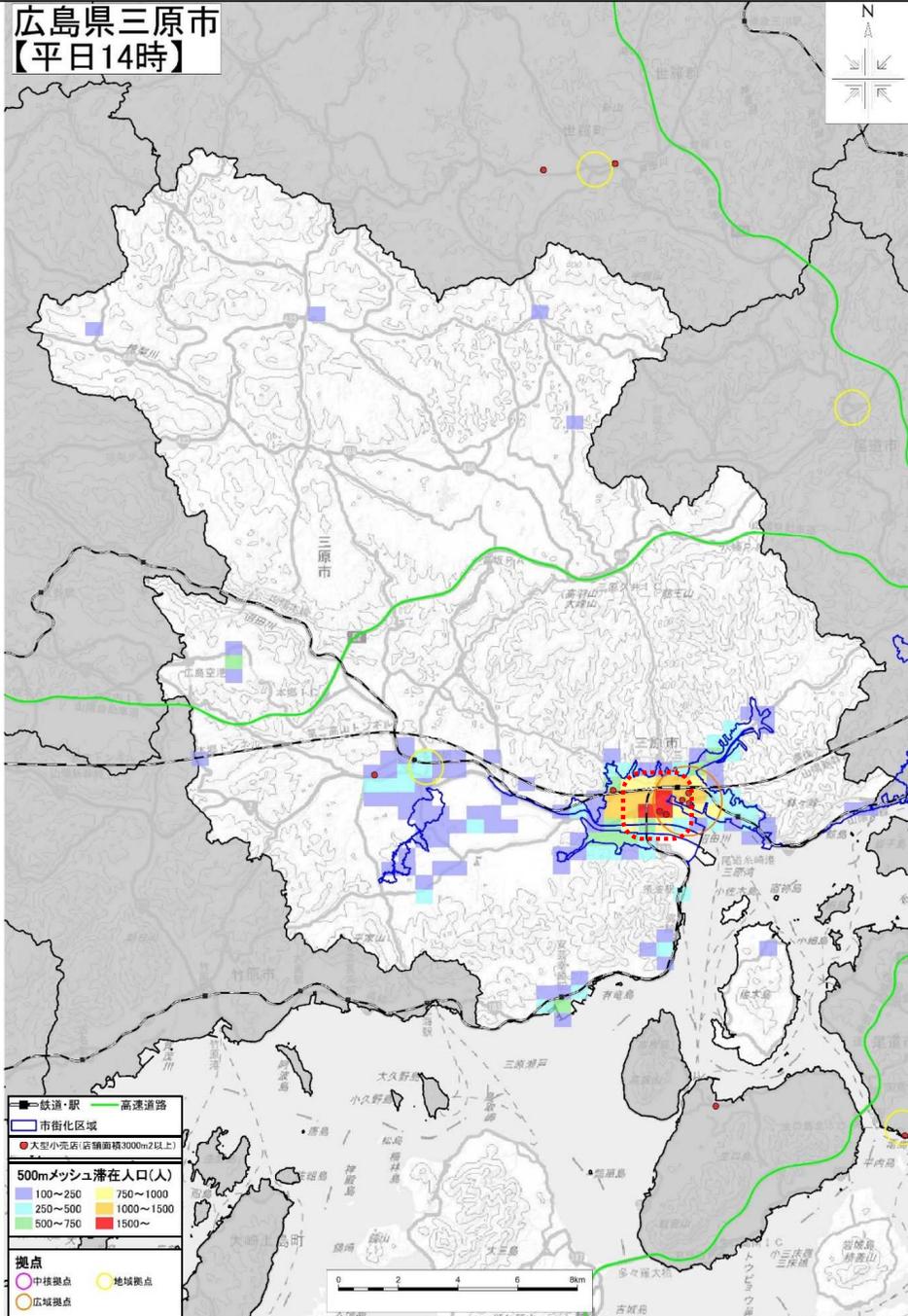


3. 各市町における滞在人口と拠点分析 三原市

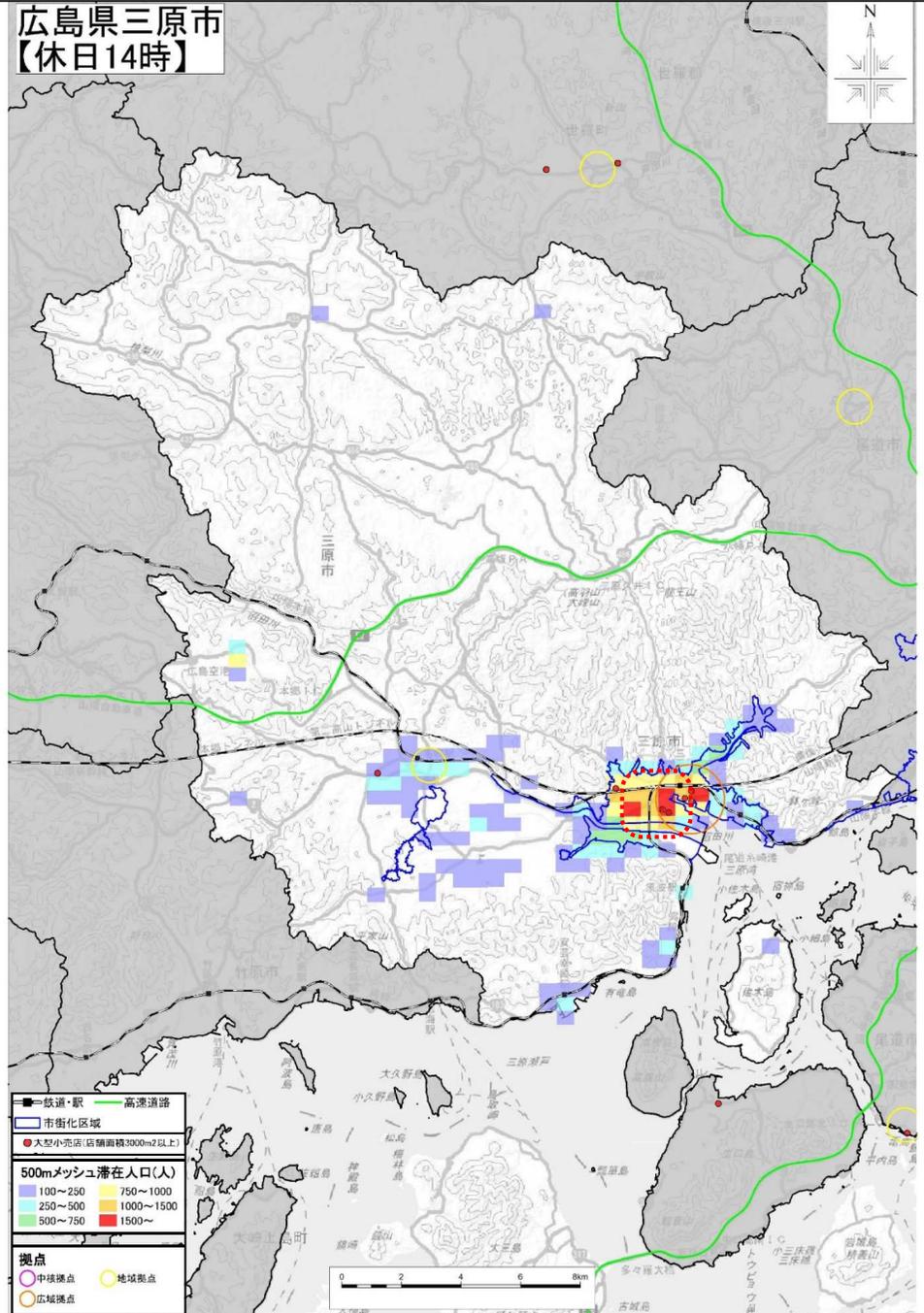
地図出典：地理院地図
データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング (2019年10月平均)

- 広域拠点に位置づけられる、三原駅周辺に滞在人口が集中。また休日は、大型商業施設に滞在人口が集中。
- 地域拠点は、その周辺と比べて滞在人口の差は小さい。

広島県三原市
【平日14時】



広島県三原市
【休日14時】

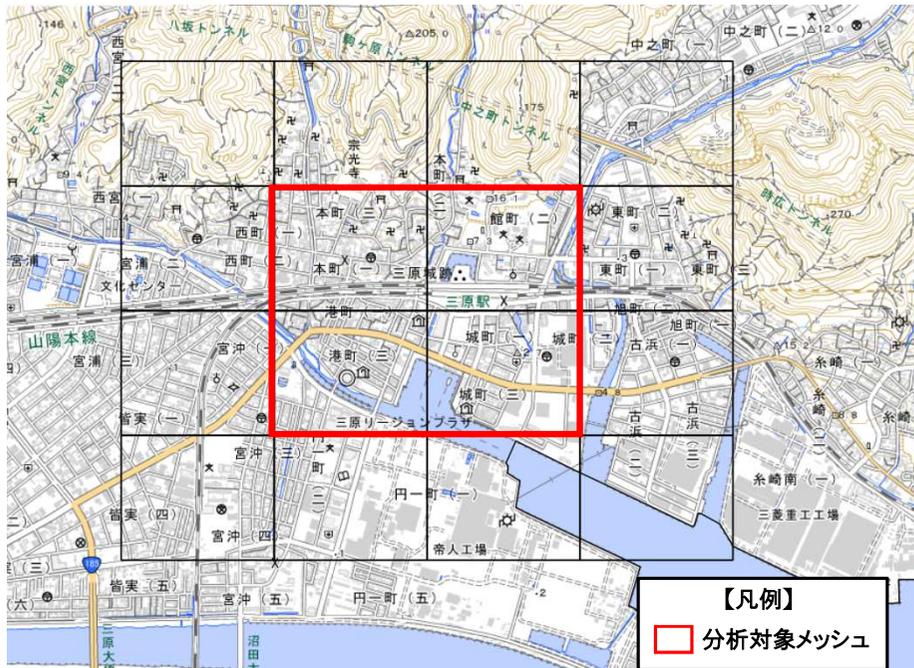


3. 各市町における滞在人口と拠点分析 三原市

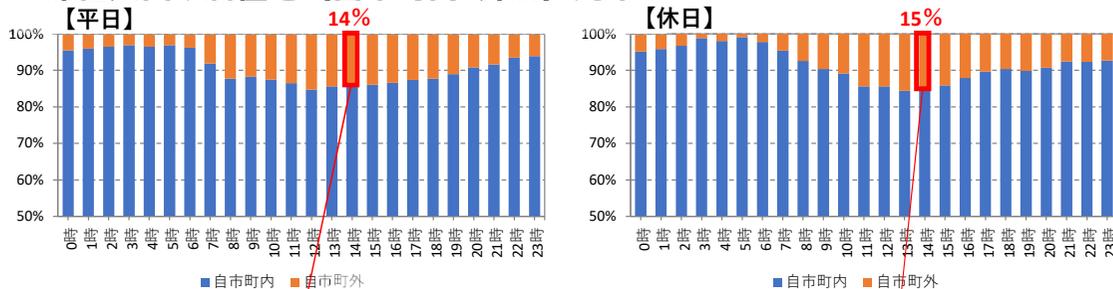
地図出典：地理院地図
 データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング (2019年10月平均)
 将来値は、モバイル空間統計を用いて広島県で独自推計

- 三原駅周辺の赤枠内の滞在人口は平日が多く、昼間の市外居住者の滞在人口は、平日・休日とも約1割に留まっている。
- 滞在人口の将来推計では、2030年時点で約1割、2050年時点で約3割が減少する。

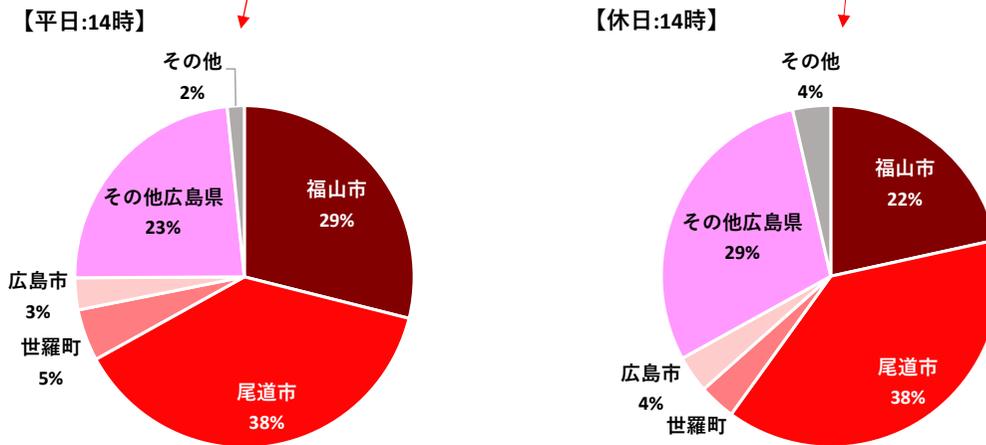
▼位置図



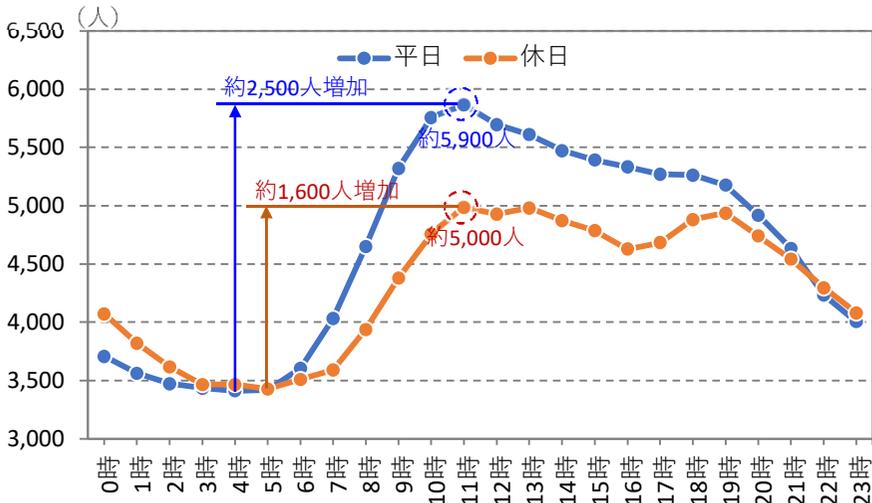
▼滞在人口の居住地（自市町内・外別）比率



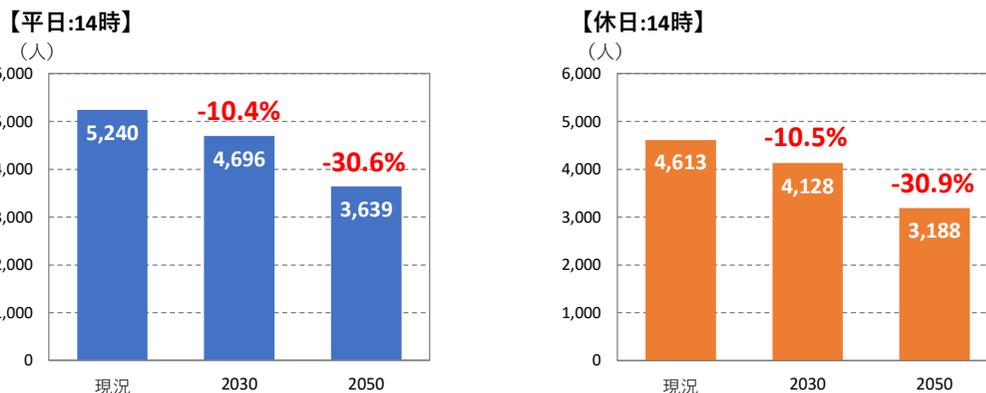
<自市町外の滞在人口比率>



▼滞在人口（総数）



▼将来滞在人口の推計

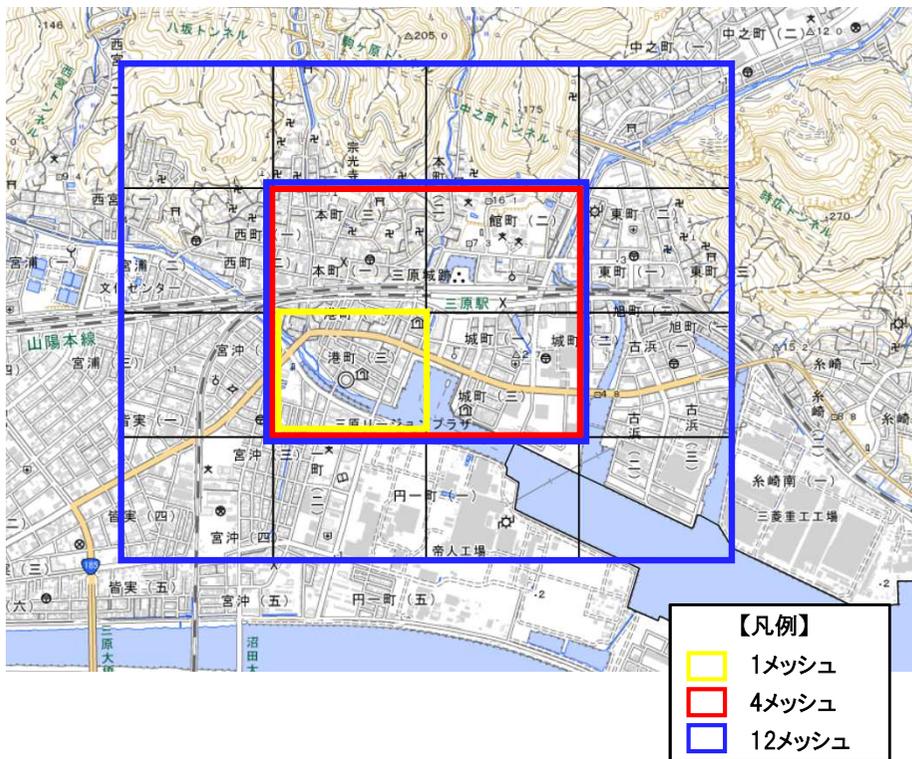


人口増減率は、広島県・岡山県は国立社会保障・人口問題研究所における日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）、その他は日本の将来推計人口（平成29年推計）の死亡中位・出生中位結果をもとに算出。地域別将来推計人口は2045年までであるが、2050年まで同様の増減率を維持するとして算出した。

3. 各市町における滞在人口と拠点分析 三原市

- 平日の滞在人口は、いずれのメッシュでも30歳代～50歳代の女性の比率が高い。
- 休日の滞在人口は、1メッシュで男性・女性ともに60歳以上の比率が高い傾向。4メッシュ12メッシュでは、女性の30歳代～50歳代の比率が高い。

▼位置図（1メッシュ、4メッシュ、12メッシュを図示）



▼拠点周辺の滞在人口（14時） 年齢性別構成比

性別	年代	居住人口		滞在人口					
		三原市 全体	平日			休日			
			1メッシュ	4メッシュ	12メッシュ	1メッシュ	4メッシュ	12メッシュ	
男性	15歳以上	2.7%	0.8%	0.8%	1.8%	1.2%	1.5%	1.6%	
	20歳代	5.1%	4.4%	4.1%	3.7%	3.6%	4.0%	4.2%	
	30歳代	5.8%	5.6%	5.5%	5.6%	4.9%	5.6%	6.3%	
	40歳代	7.8%	7.8%	7.4%	8.1%	7.2%	7.6%	8.8%	
	50歳代	6.8%	6.8%	6.9%	7.1%	6.6%	7.0%	7.8%	
	60歳代	8.2%	8.6%	8.8%	8.7%	9.3%	9.3%	8.7%	
	70歳代	8.1%	7.5%	7.6%	7.0%	8.0%	7.7%	6.6%	
	80歳代	3.9%	5.4%	4.6%	3.8%	6.3%	4.8%	3.9%	
女性	15歳以上	2.6%	0.0%	0.5%	1.3%	1.0%	1.1%	1.7%	
	20歳代	4.6%	4.3%	4.2%	5.0%	3.7%	4.0%	4.2%	
	30歳代	5.4%	6.6%	6.8%	7.0%	6.2%	6.3%	6.5%	
	40歳代	7.5%	8.3%	9.3%	10.0%	7.4%	8.7%	9.7%	
	50歳代	7.0%	8.4%	8.4%	8.9%	7.4%	8.1%	8.9%	
	60歳代	8.7%	8.9%	9.4%	9.6%	8.2%	9.0%	8.9%	
	70歳代	9.1%	9.7%	9.4%	7.8%	10.3%	8.9%	7.5%	
	80歳代	6.6%	6.9%	6.3%	4.7%	8.6%	6.3%	4.6%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

居住人口（三原市全体）の比率より、

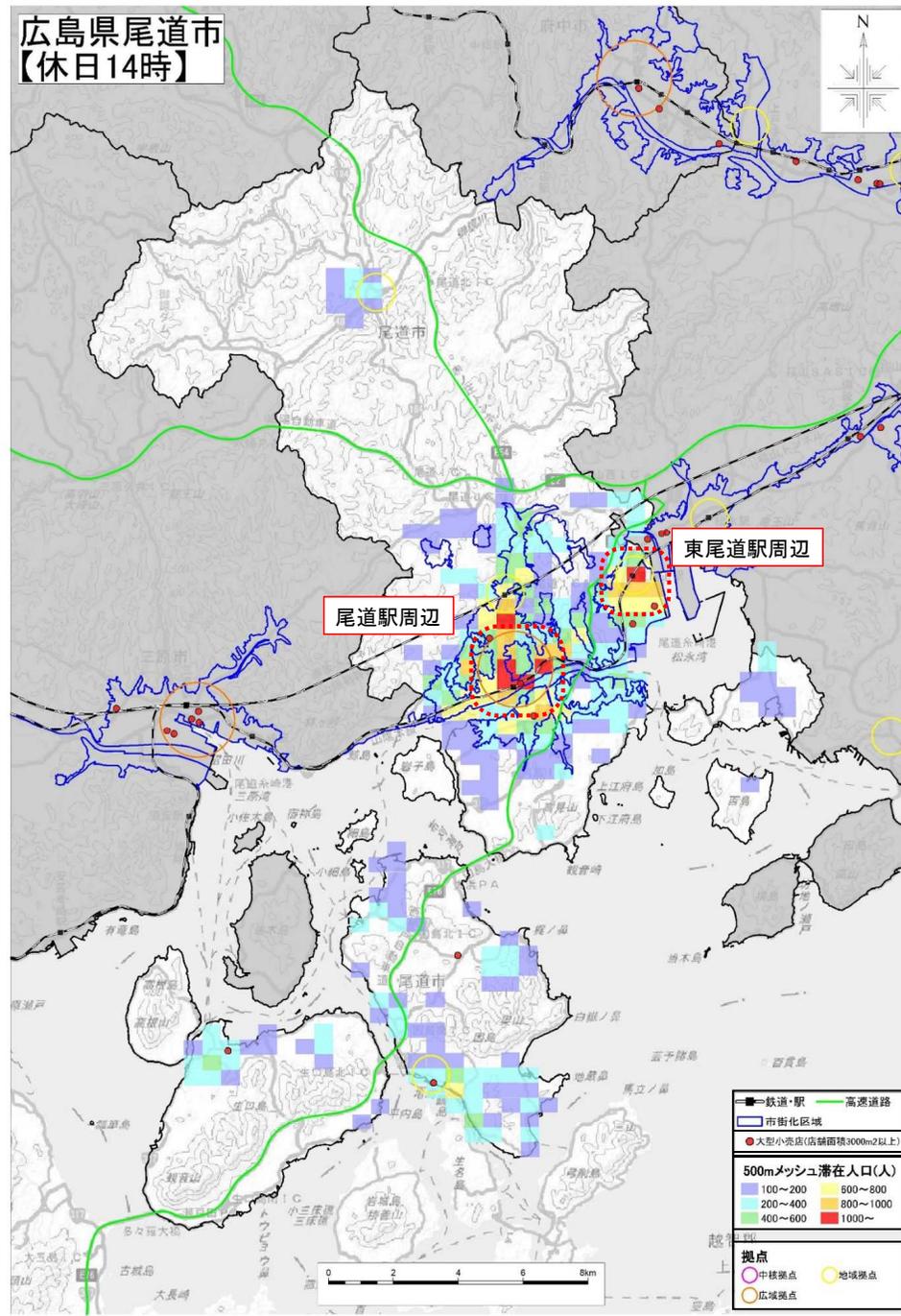
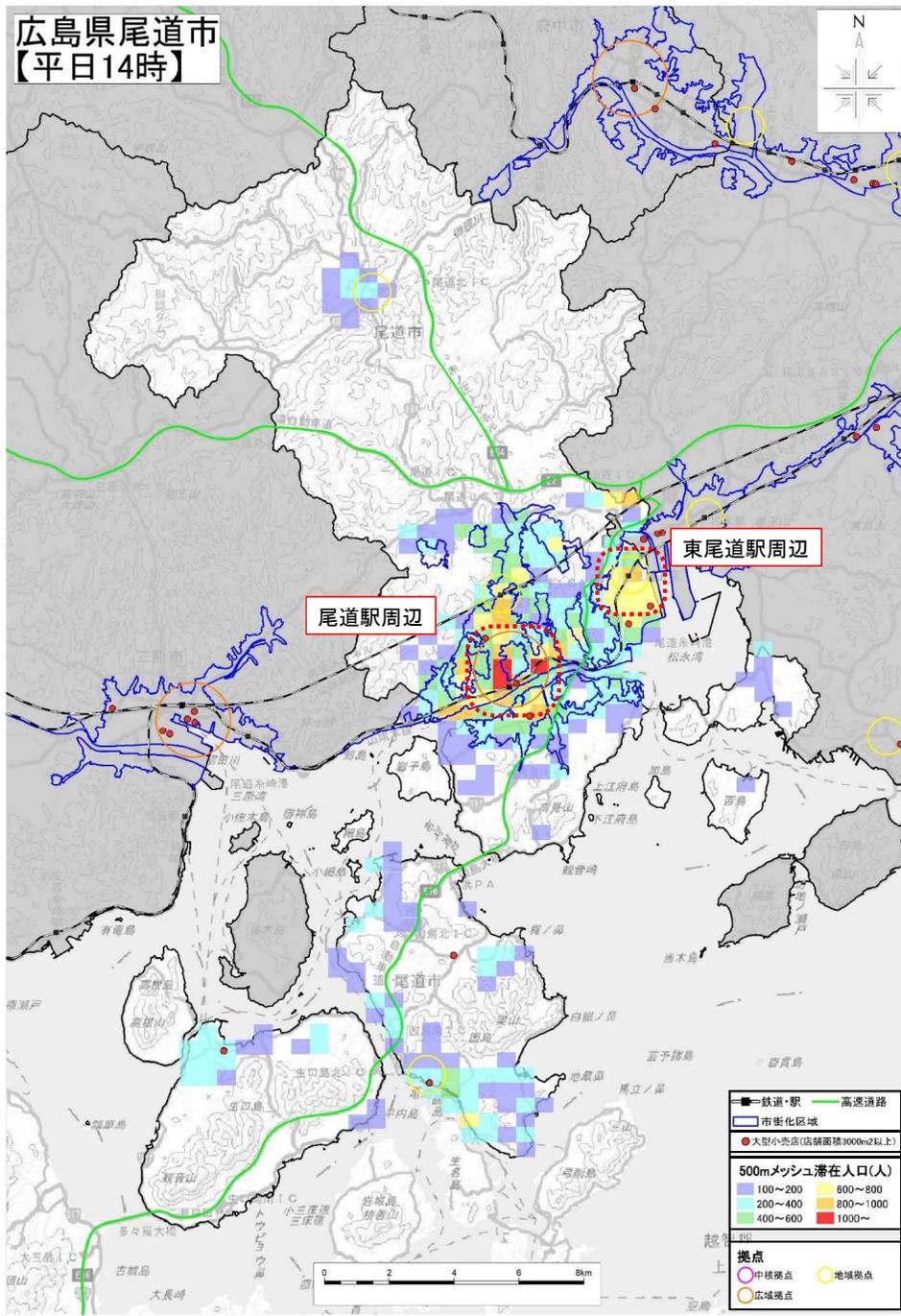
- 赤字：+1.0%以上
- 黒字：±1.0%未満
- 青字：-1.0%以下

※居住人口は、住民基本台帳に基づく人口/総務省（2020年1月1日現在）を用いて、滞在人口と同様に15歳以上、90歳未満の合計を100%とした場合の、性別・年代別の割合を示したものの。

3. 各市町における滞在人口と拠点分析 尾道市

地図出典：地理院地図
データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング（2019年10月平均）

- 広域拠点の尾道駅周辺と、地域拠点の東尾道駅周辺に滞在人口が集中。

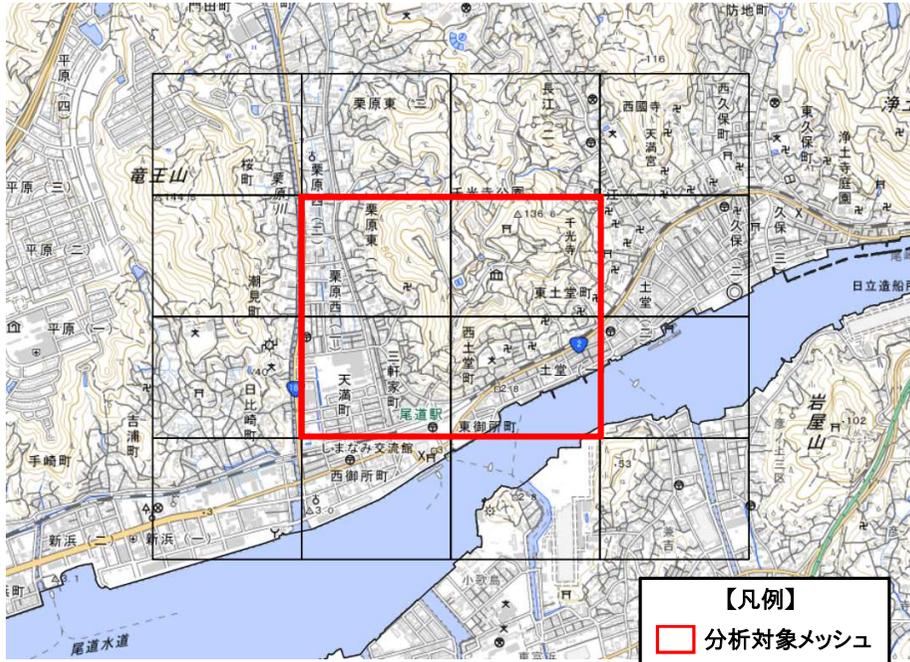


3. 各市町における滞在人口と拠点分析 尾道市

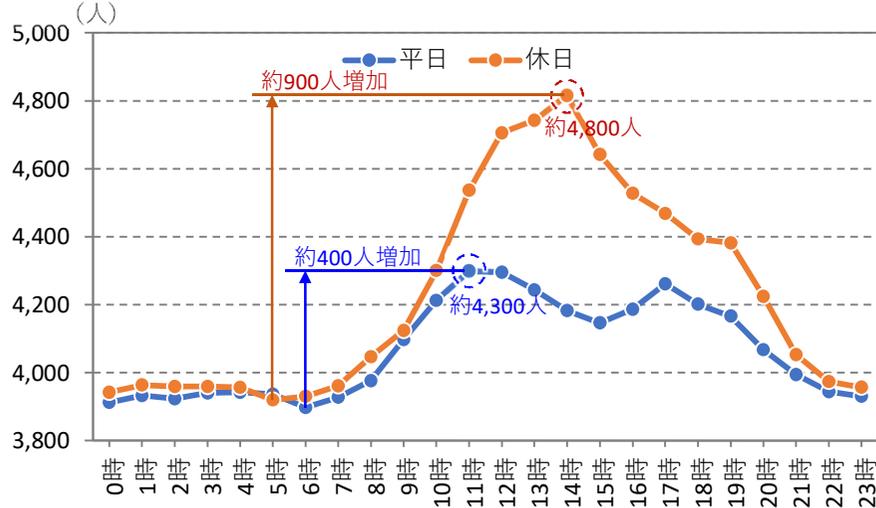
地図出典：地理院地図
 データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング（2019年10月平均）
 将来値は、モバイル空間統計を用いて広島県で独自推計

- 尾道駅周辺の赤枠内の滞在人口は休日が多く、昼間の市外居住者の滞在は、平日で約1割、休日で約2割。
- 滞在人口の将来推計では、2030年時点で約1割、2050年時点で約3割が減少。

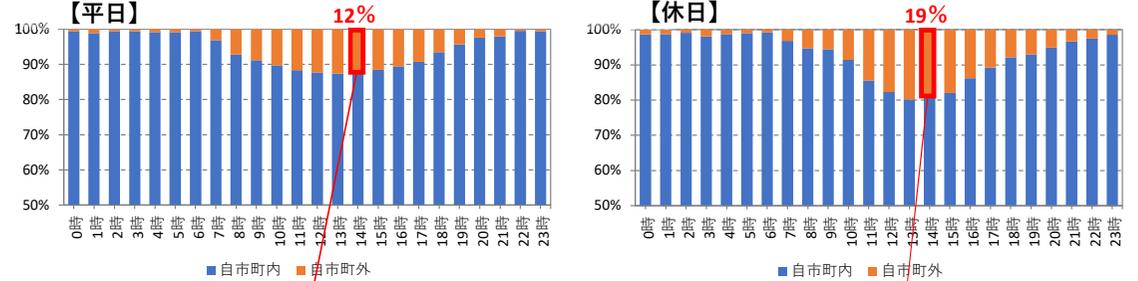
▼位置図



▼滞在人口（総数）



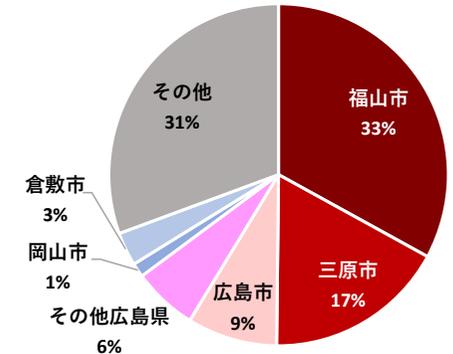
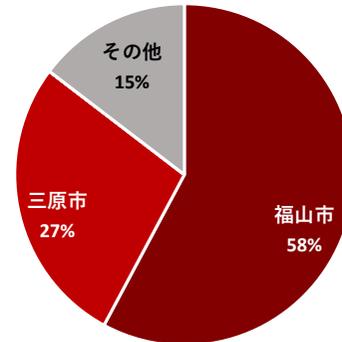
▼滞在人口の居住地（自市町内・外別）比率



<自市町外の滞在人口比率>

【平日:14時】

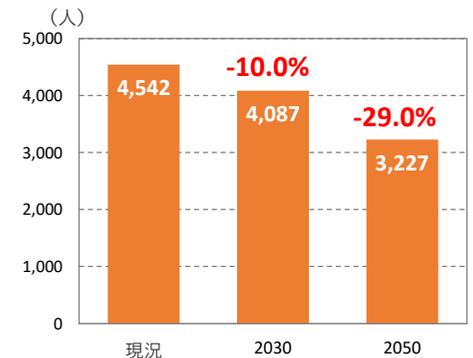
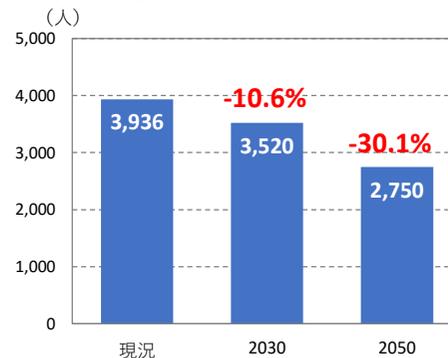
【休日:14時】



▼将来滞在人口の推計

【平日:14時】

【休日:14時】

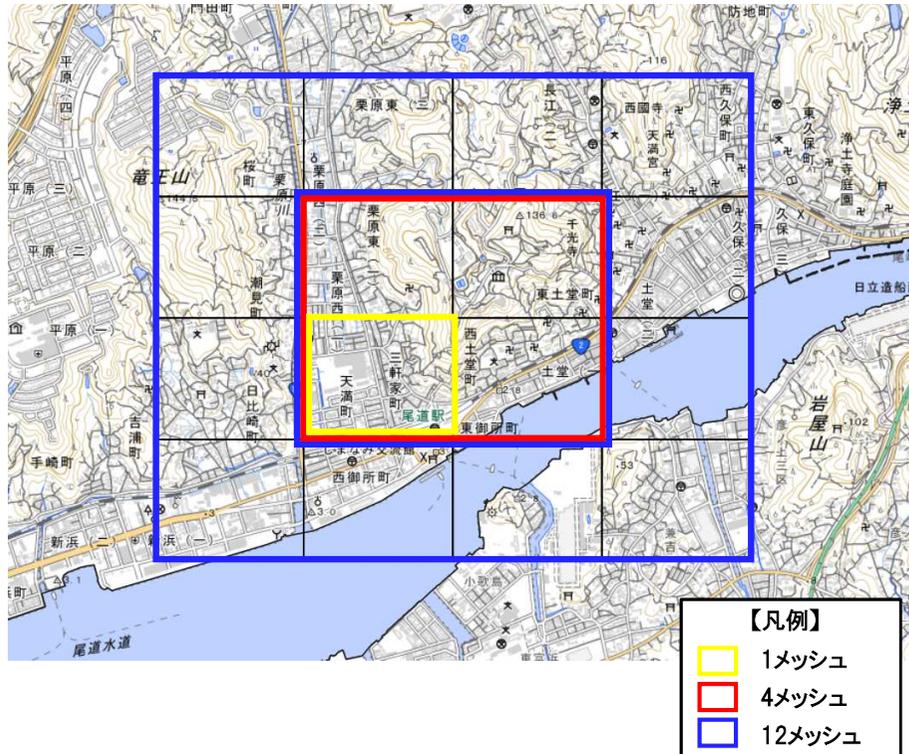


人口増減率は、広島県・岡山県は国立社会保障・人口問題研究所における日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）、その他は日本の将来推計人口（平成29年推計）の死亡中位・出生中位結果をもとに算出。地域別将来推計人口は2045年までであるが、2050年まで同様の増減率を維持するとして算出した。

3. 各市町における滞在人口と拠点分析 尾道市

- 平日、休日のいずれのメッシュでも40歳代、50歳代の女性の比率が高い。
- 休日は、さらにいずれのメッシュでも50歳代男性が高く、4メッシュ、12メッシュで20歳代女性の比率が高い。

▼位置図（1メッシュ、4メッシュ、12メッシュを図示）



▼拠点周辺の滞在人口（14時） 年齢性別構成比

性別	年代	居住人口		滞在人口					
		尾道市全体	平日			休日			
			1メッシュ	4メッシュ	12メッシュ	1メッシュ	4メッシュ	12メッシュ	
男性	15歳以上	2.7%	0.7%	1.0%	0.8%	1.3%	1.2%	1.1%	
	20歳代	5.7%	3.6%	4.2%	4.6%	4.2%	5.4%	5.4%	
	30歳代	6.2%	3.8%	4.9%	6.2%	4.0%	5.3%	6.0%	
	40歳代	7.3%	6.7%	7.1%	8.1%	7.0%	7.5%	8.0%	
	50歳代	6.5%	6.7%	7.4%	7.8%	7.9%	7.8%	7.7%	
	60歳代	8.3%	8.3%	8.1%	8.1%	7.7%	7.2%	7.7%	
	70歳代	8.3%	6.8%	7.5%	8.2%	6.9%	6.9%	7.8%	
	80歳代	4.0%	5.4%	4.4%	4.0%	5.3%	3.8%	3.7%	
女性	15歳以上	2.4%	0.7%	1.0%	0.8%	0.8%	1.6%	1.8%	
	20歳代	4.3%	4.3%	4.8%	4.5%	4.8%	6.2%	5.6%	
	30歳代	5.3%	5.8%	6.1%	6.0%	4.8%	5.6%	5.7%	
	40歳代	7.2%	8.5%	8.4%	8.9%	8.7%	8.9%	8.6%	
	50歳代	6.8%	9.1%	9.0%	8.2%	8.9%	8.7%	7.9%	
	60歳代	8.6%	10.0%	9.5%	8.7%	9.2%	8.7%	8.4%	
	70歳代	9.8%	10.4%	10.0%	9.9%	9.9%	9.0%	9.4%	
	80歳代	6.7%	9.3%	6.7%	5.4%	8.6%	6.0%	5.2%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

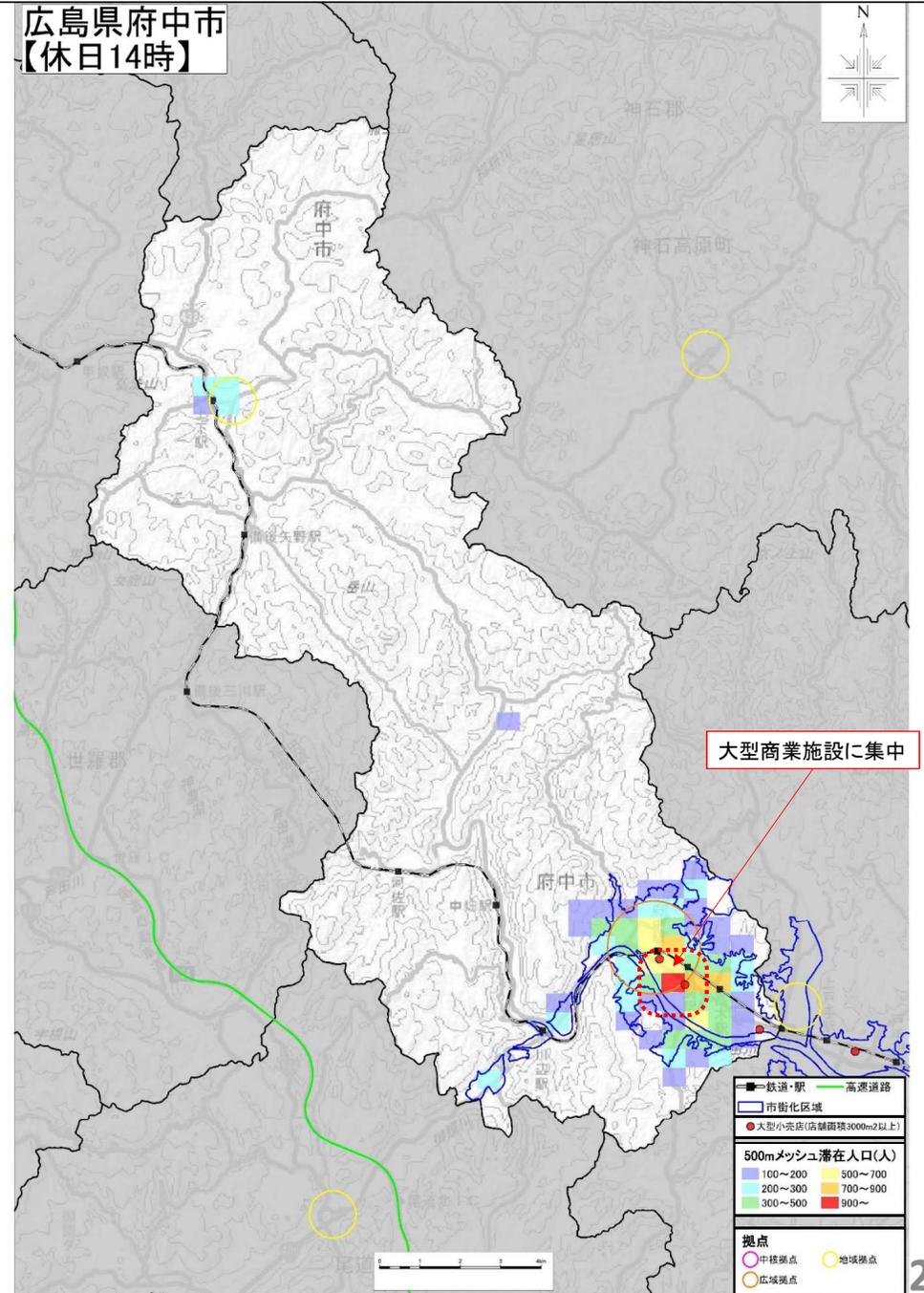
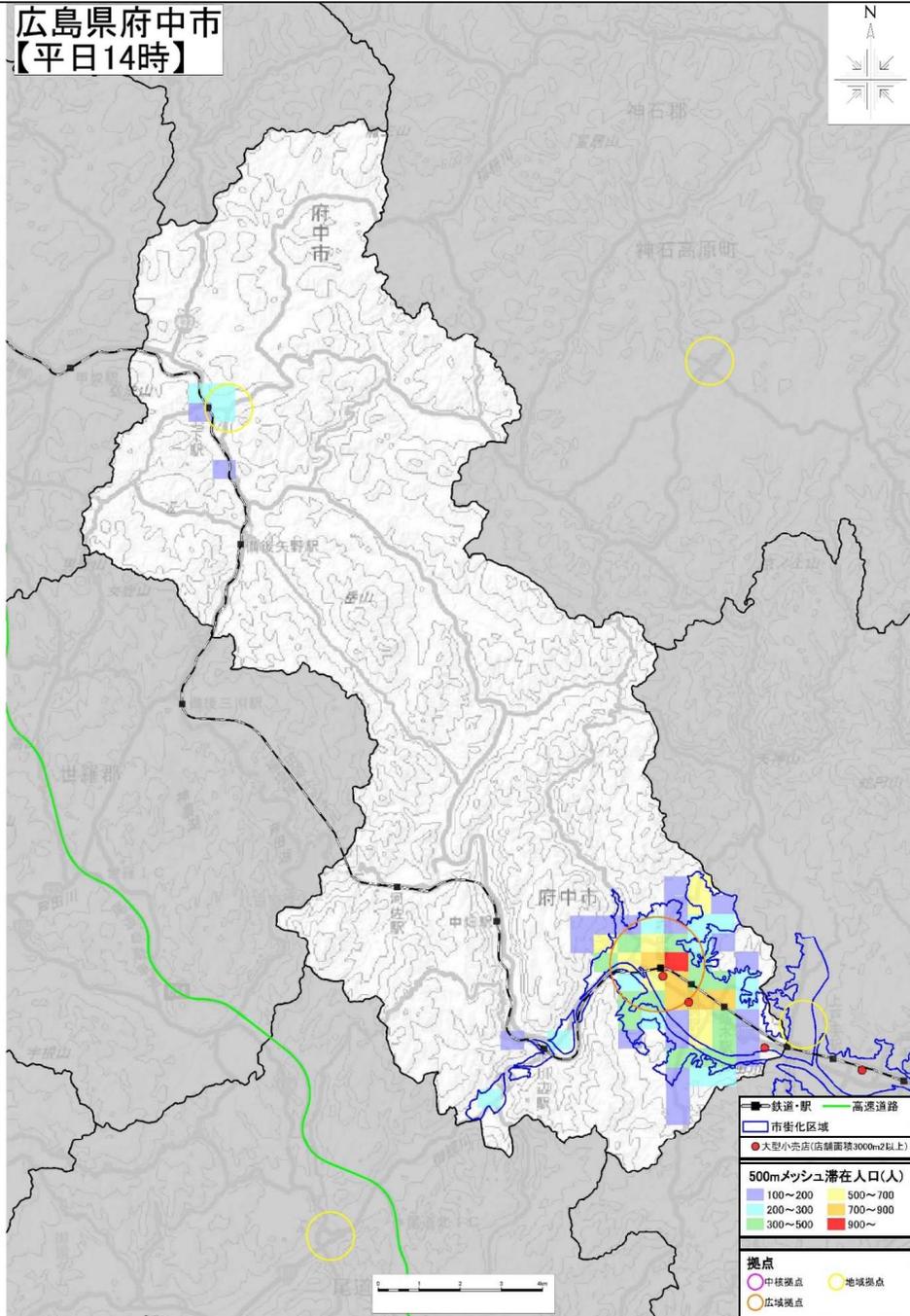
居住人口（尾道市全体）の比率より、
 赤字：+1.0%以上
 黒字：±1.0%未満
 青字：-1.0%以下

※居住人口は、住民基本台帳に基づく人口/総務省（2020年1月1日現在）を用いて、滞在人口と同様に15歳以上、90歳未満の合計を100%とした場合の、性別・年代別の割合を示したものです。

3. 各市町における滞在人口と拠点分析 府中市

地図出典：地理院地図
データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング（2019年10月平均）

- 広域拠点の府中駅周辺に滞在人口が集中。また、休日は大型商業施設に滞在人口が集中。
- 地域拠点は、その周辺と比べて滞在人口の差が小さい。

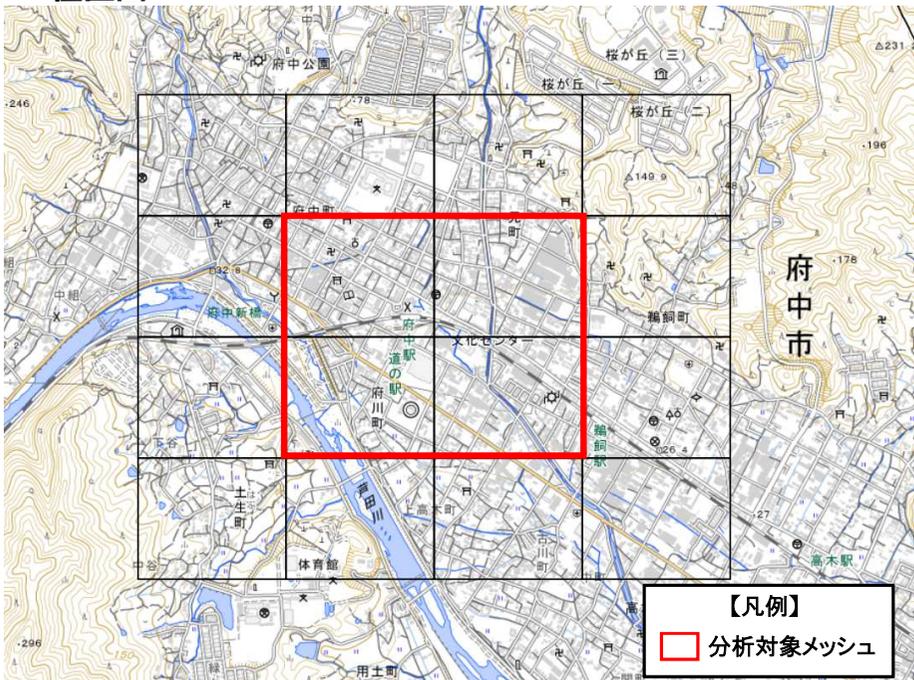


3. 各市町における滞在人口と拠点分析 府中市

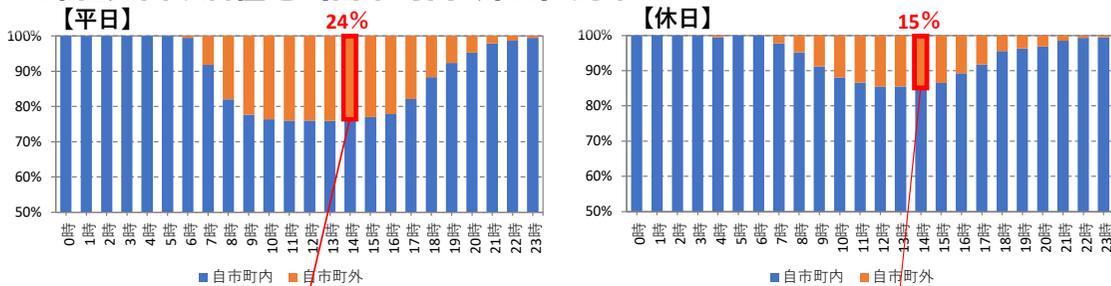
地図出典：地理院地図
 データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング (2019年10月平均)
 将来値は、モバイル空間統計を用いて広島県で独自推計

- 府中駅周辺の赤枠内の滞在人口は平日が多く、昼間の市外居住者の滞在は、平日で約2割、休日で約1割。
- 滞在人口の将来推計では、2030年時点で約1割、2050年時点で約3割が減少。

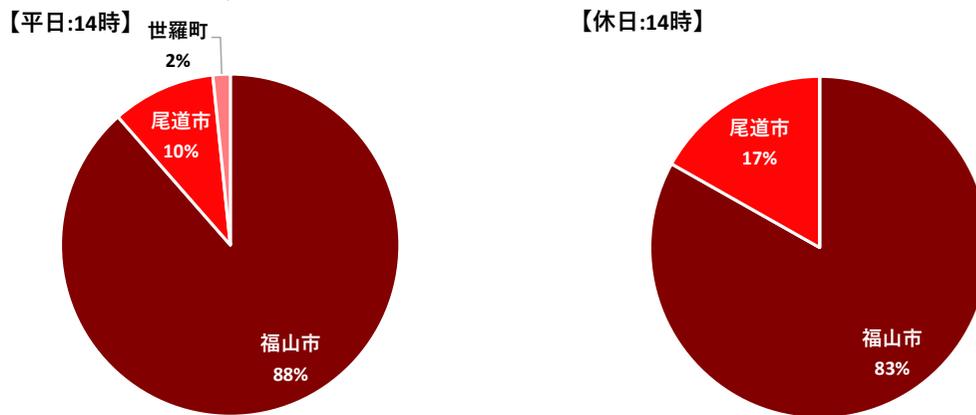
▼位置図



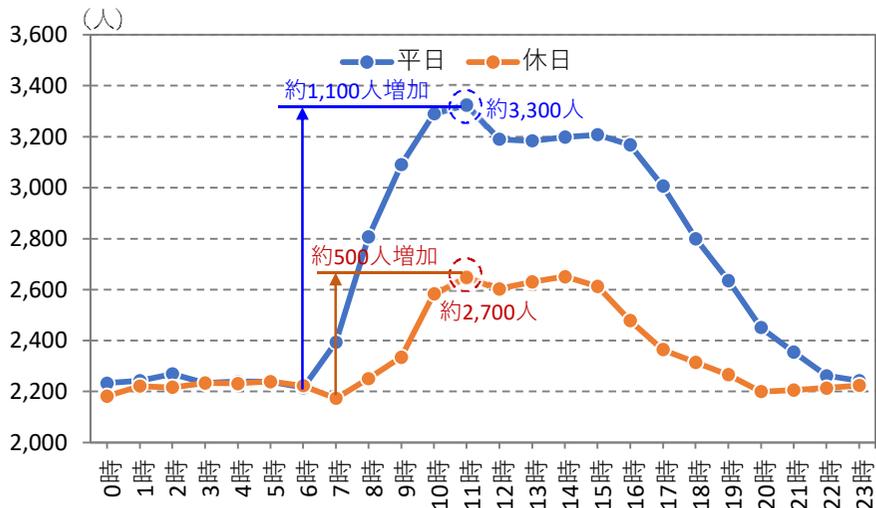
▼滞在人口の居住地（自市町内・外別）比率



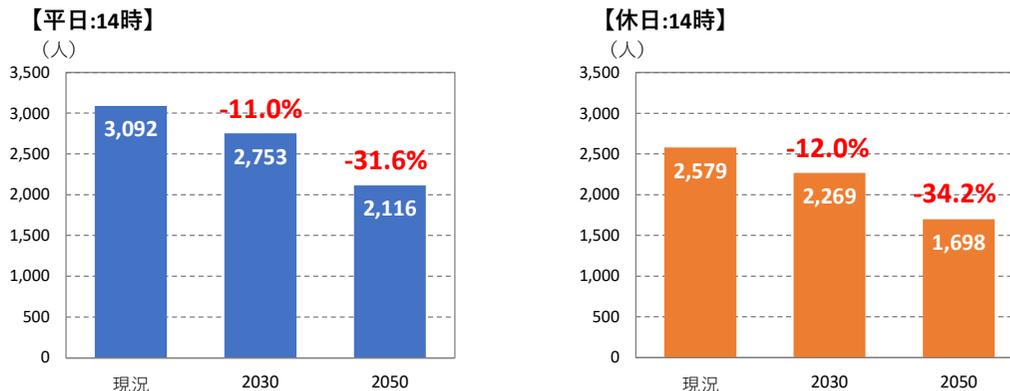
<自市町外の滞在人口比率>



▼滞在人口（総数）



▼将来滞在人口の推計

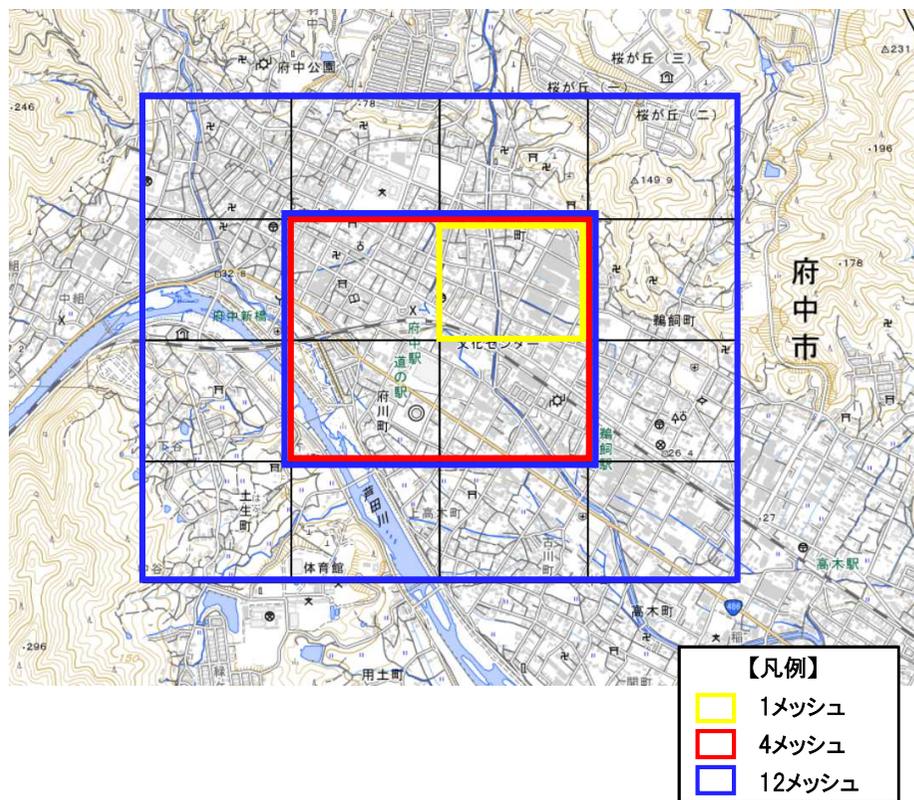


人口増減率は、広島県・岡山県は国立社会保障・人口問題研究所における日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）、その他は日本の将来推計人口（平成29年推計）の死亡中位・出生中位結果をもとに算出。地域別将来推計人口は2045年までであるが、2050年まで同様の増減率を維持するとして算出した。

3. 各市町における滞在人口と拠点分析 府中市

- 平日はいずれのメッシュでも男性、女性ともに30歳代～50歳代の比率が高い。
- 休日は1メッシュ、4メッシュで女性の40歳代～70歳代の比率が高い。

▼位置図（1メッシュ、4メッシュ、12メッシュを図示）



▼拠点周辺の滞在人口（14時） 年齢性別構成比

性別	年代	居住人口 府中市 全体	滞在人口					
			平日			休日		
			1メッシュ	4メッシュ	12メッシュ	1メッシュ	4メッシュ	12メッシュ
男性	15歳以上	2.7%	1.7%	0.5%	0.9%	0.0%	0.7%	0.6%
	20歳代	5.2%	7.6%	5.4%	4.6%	2.3%	2.7%	4.1%
	30歳代	5.2%	6.4%	6.1%	6.5%	3.9%	4.8%	6.1%
	40歳代	7.8%	10.7%	9.1%	9.6%	8.0%	8.0%	9.4%
	50歳代	7.0%	8.5%	9.0%	8.8%	7.5%	7.7%	8.2%
	60歳代	8.2%	7.9%	8.5%	8.9%	8.3%	8.8%	9.1%
	70歳代	8.3%	6.2%	7.7%	8.4%	9.4%	8.9%	8.9%
	80歳代	4.4%	3.2%	3.4%	4.2%	4.9%	4.5%	4.4%
女性	15歳以上	2.6%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.5%
	20歳代	4.3%	3.8%	3.7%	3.4%	2.8%	3.0%	2.6%
	30歳代	4.6%	7.4%	6.5%	5.9%	4.9%	5.6%	6.4%
	40歳代	7.2%	9.0%	9.1%	9.5%	9.7%	9.1%	10.0%
	50歳代	7.0%	8.1%	9.2%	8.0%	8.4%	9.1%	8.6%
	60歳代	9.0%	8.5%	9.8%	9.6%	11.7%	10.7%	9.4%
	70歳代	9.7%	8.2%	8.4%	7.5%	14.3%	11.4%	8.3%
	80歳代	6.9%	2.8%	3.7%	3.7%	3.8%	4.6%	3.4%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

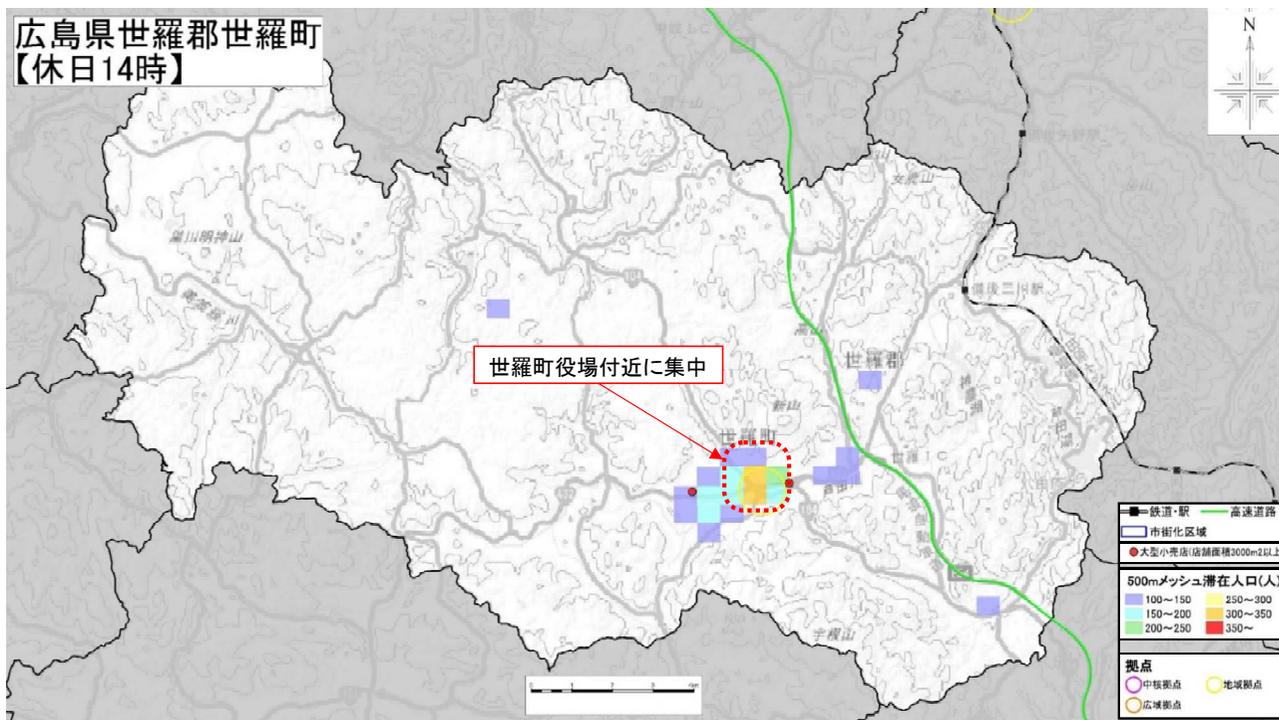
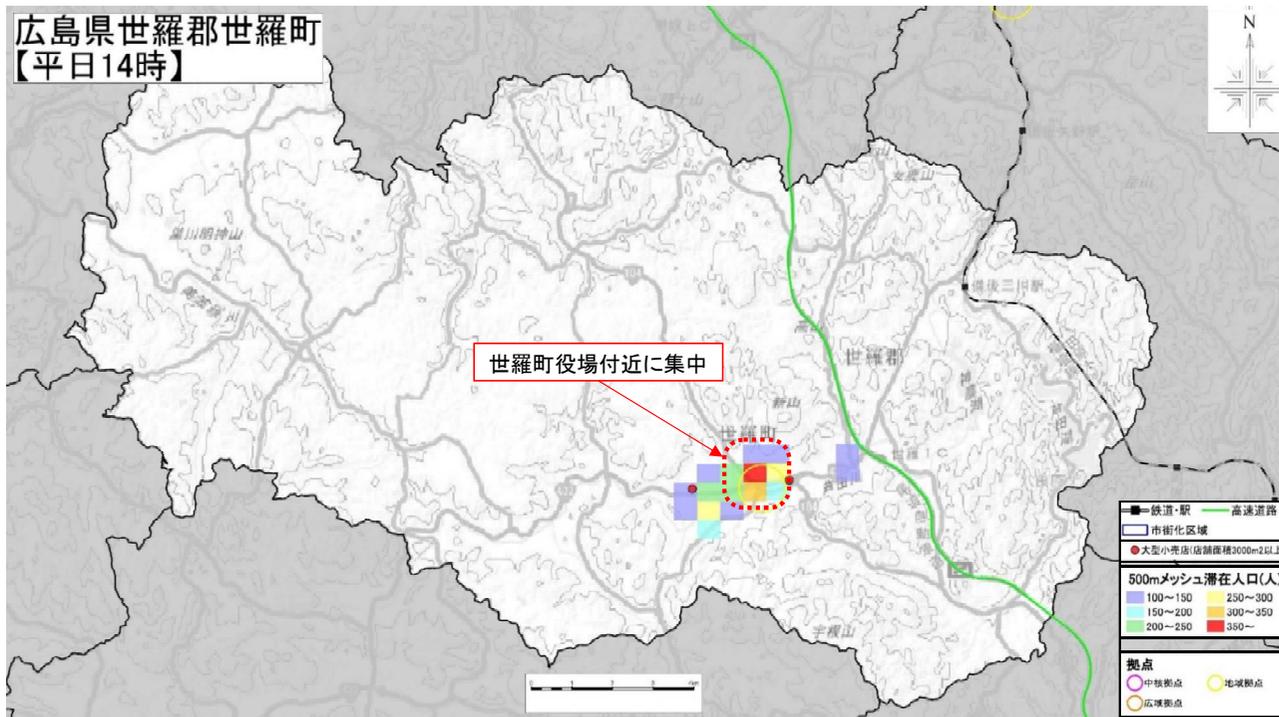
居住人口（府中市全体）の比率より、
赤字：+1.0%以上
黒字：±1.0%未満
青字：-1.0%以下

※居住人口は、住民基本台帳に基づく人口/総務省（2020年1月1日現在）を用いて、滞在人口と同様に15歳以上、90歳未満の合計を100%とした場合の、性別・年代別の割合を示したもの。

3. 各市町における滞在人口と拠点分析 世羅町

地図出典：地理院地図
データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング（2019年10月平均）

- 地域拠点の世羅町役場付近に滞在人口が集中。

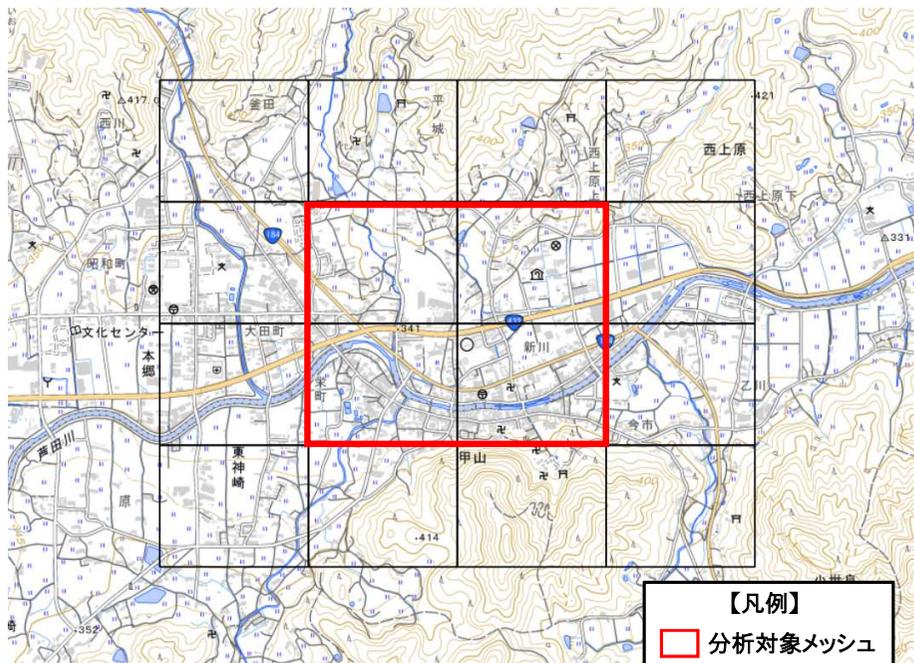


3. 各市町における滞在人口と拠点分析 世羅町

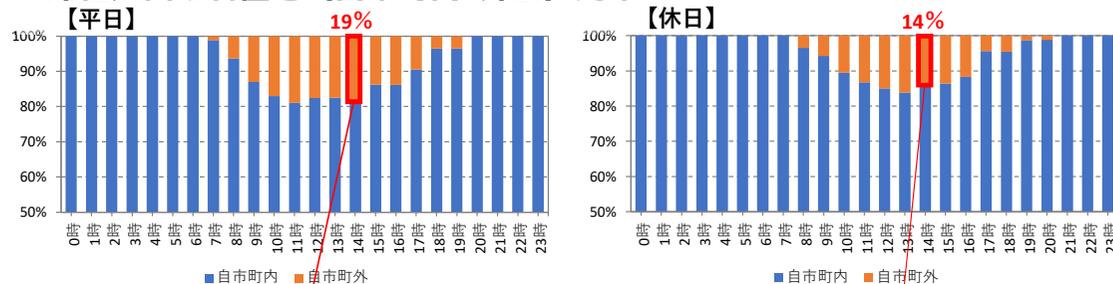
地図出典：地理院地図
 データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング
 (2019年10月平均)を基に広島県で独自推計

- 世羅役場周辺の赤枠内の滞在人口は平日が多く、昼間の市外居住者の滞在は、平日・休日ともに約2割である。
- 滞在人口の将来推計では、2030年時点で約2割、2050年時点で約4割が減少する。

▼位置図



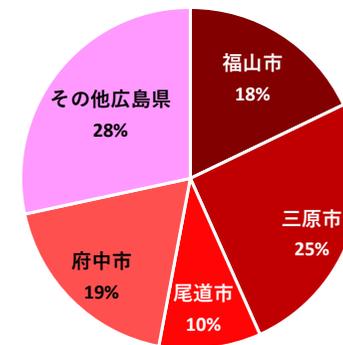
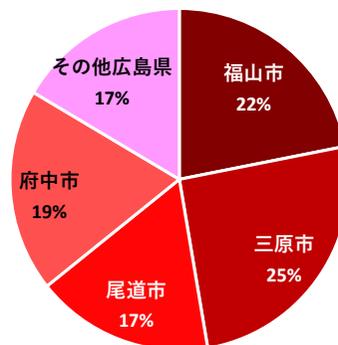
▼滞在人口の居住地（自市町内・外別）比率



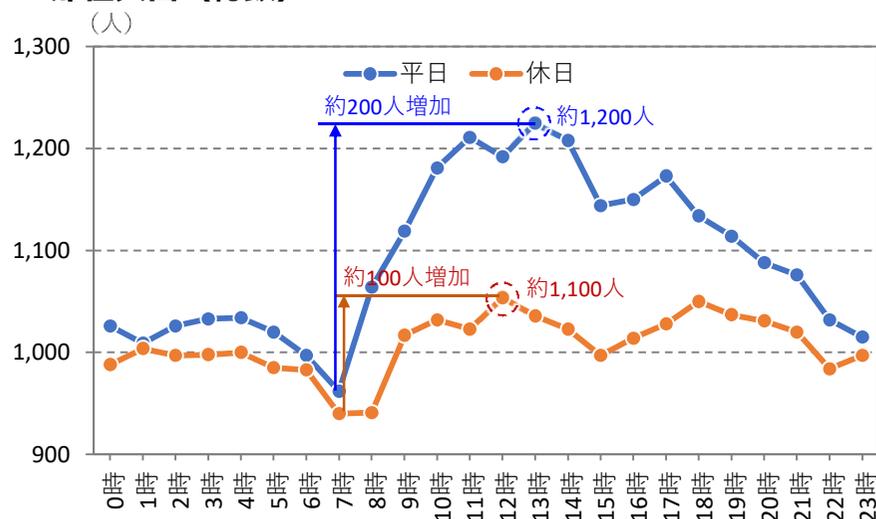
<自市町外の滞在人口比率>

【平日:14時】

【休日:14時】

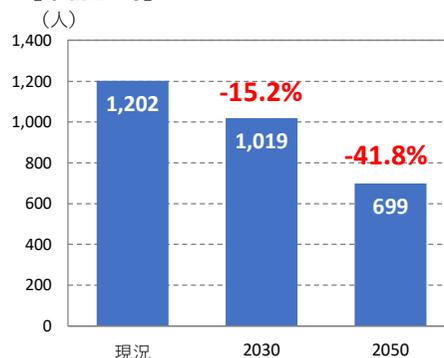


▼滞在人口（総数）

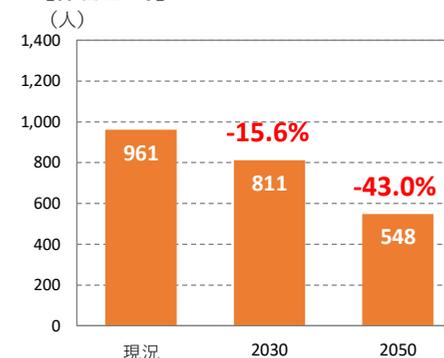


▼将来滞在人口の推計

【平日:14時】



【休日:14時】



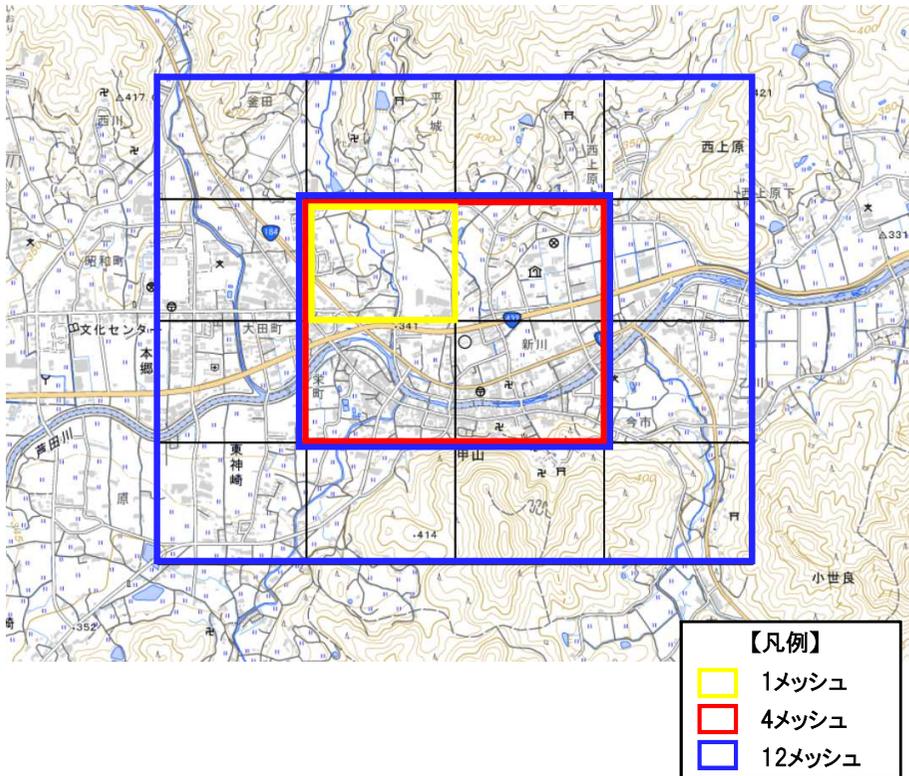
人口増減率は、広島県・岡山県は国立社会保障・人口問題研究所における日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）、その他は日本の将来推計人口（平成29年推計）の死亡中位・出生中位結果をもとに算出。地域別将来推計人口は2045年までであるが、2050年まで同様の増減率を維持するとして算出した。

3. 各市町における滞在人口と拠点分析 世羅町

地図出典：地理院地図
 データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング（2019年10月平均）
 将来値は、モバイル空間統計を用いて広島県で独自推計

- 男性・女性とも、平日・休日ともに30～50歳代の比率が高い。

▼位置図（1メッシュ、4メッシュ、12メッシュを図示）



▼拠点周辺の滞在人口（14時） 年齢性別構成比

性別	年代	居住人口 世羅町 全体	滞在人口					
			平日			休日		
			1メッシュ	4メッシュ	12メッシュ	1メッシュ	4メッシュ	12メッシュ
男性	15歳以上	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	4.2%	3.7%	4.4%	1.5%	4.4%	4.3%	1.7%
	30歳代	5.1%	8.3%	7.1%	5.2%	8.6%	7.5%	5.5%
	40歳代	6.8%	9.6%	8.7%	9.2%	8.9%	9.0%	10.1%
	50歳代	6.3%	10.9%	9.9%	9.0%	10.1%	9.6%	9.4%
	60歳代	9.5%	10.9%	10.3%	10.3%	10.9%	11.3%	9.8%
	70歳代	8.5%	9.8%	9.5%	8.5%	12.1%	10.5%	8.9%
	80歳代	5.3%	4.4%	4.3%	4.5%	5.3%	5.1%	4.7%
女性	15歳以上	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	3.8%	3.3%	3.2%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	4.8%	5.9%	6.4%	9.4%	4.1%	6.0%	9.4%
	40歳代	6.1%	9.0%	9.6%	12.2%	9.2%	9.2%	11.9%
	50歳代	6.7%	6.8%	8.4%	9.4%	7.7%	8.6%	9.4%
	60歳代	9.5%	7.0%	7.1%	9.4%	6.5%	7.9%	10.1%
	70歳代	9.9%	7.4%	7.8%	8.6%	8.3%	8.5%	9.1%
	80歳代	8.8%	3.1%	3.2%	1.3%	3.8%	2.9%	0.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

居住人口（世羅町全体）の比率より、
 赤字：+1.0%以上
 黒字：±1.0%未満
 青字：-1.0%以下

※居住人口は、住民基本台帳に基づく人口/総務省（2020年1月1日現在）を用いて、滞在人口と同様に15歳以上、90歳未満の合計を100%とした場合の、性別・年代別の割合を示したもの。

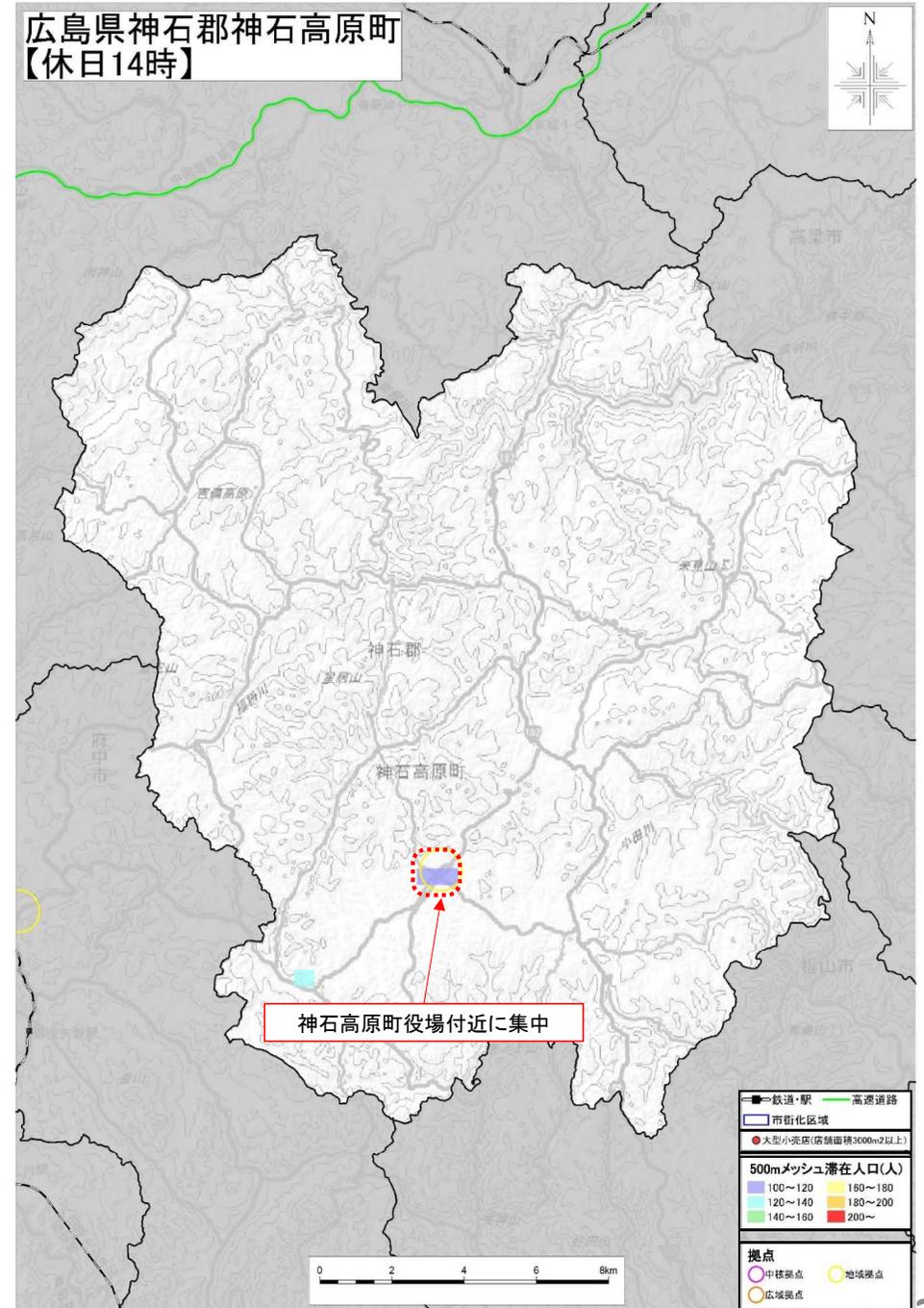
※男性・女性の15歳以上が0%となるなど秘匿処理をされており、年齢性別構成比は参考値として算定した。

3. 各市町における滞在人口と拠点分析

神石高原町

地図出典：地理院地図
データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング
(2019年10月平均)

- 地域拠点である神石高原町役場周辺に滞在人口が集中。



※データ数が少なく秘匿処理されていることから拠点の分析は行っていない。

< 2章：備後圏域中核都市について >

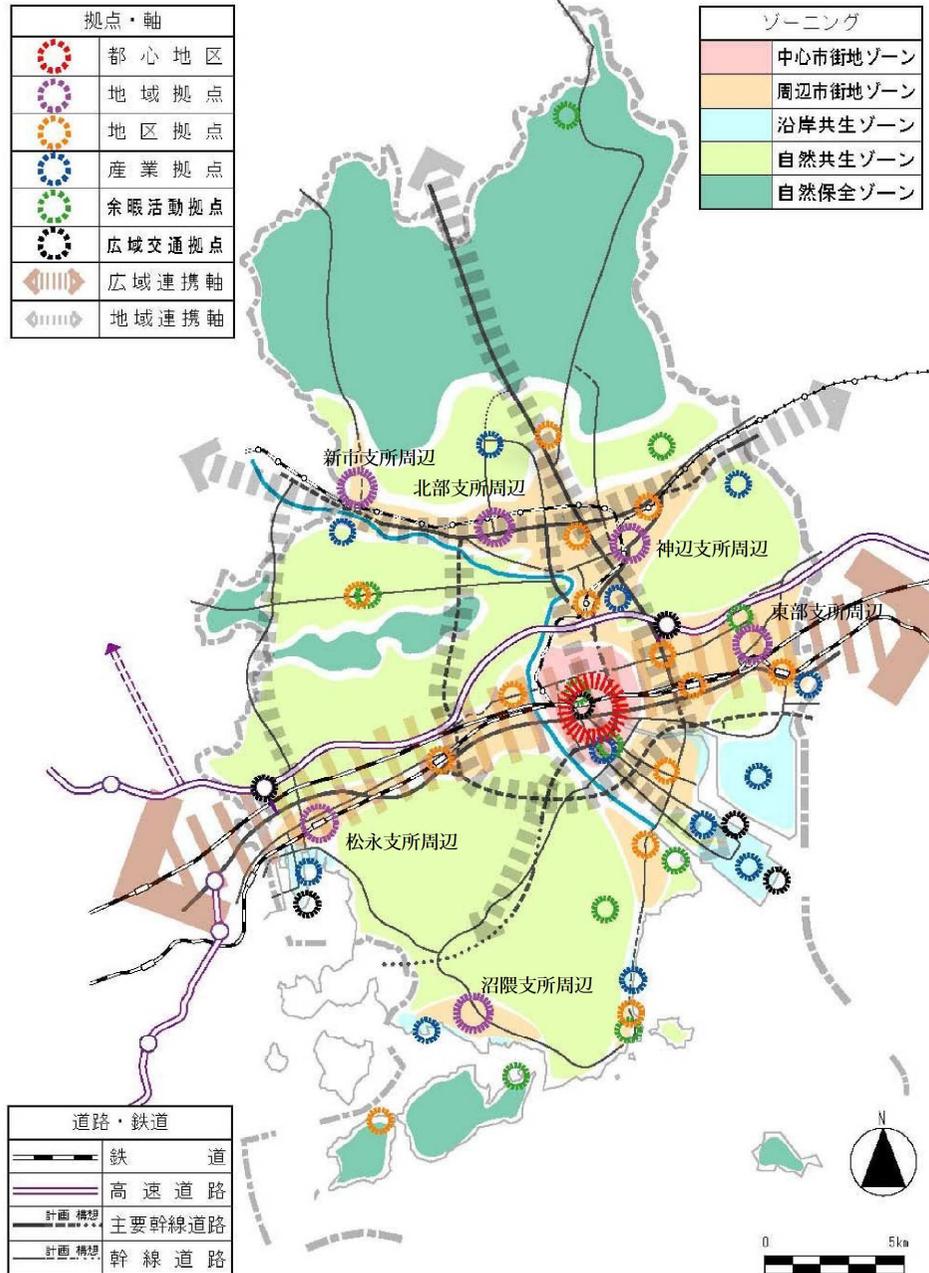
1. 備後圏域中核都市 福山市の都市計画

都市マスタープランでの位置づけ

【都市の将来構造】

都市拠点集約型の都市構造

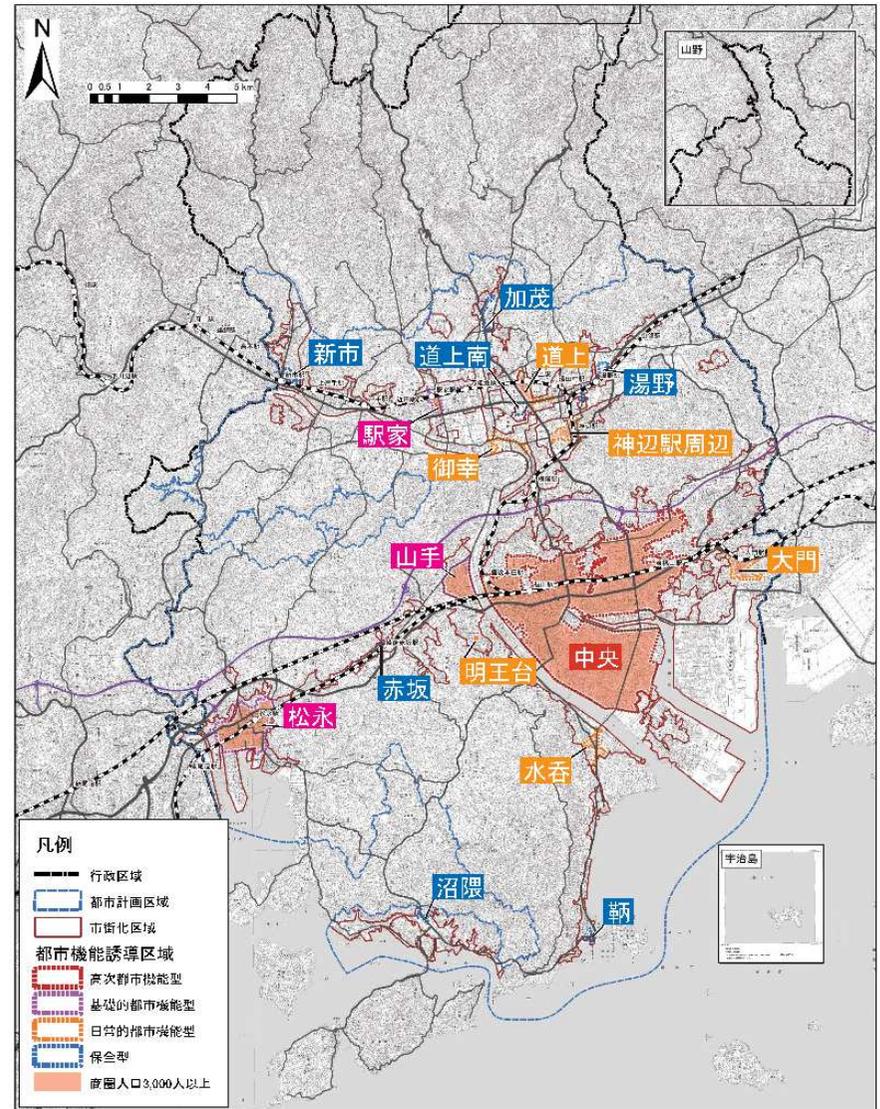
▼将来都市構造図



出典：福山市都市マスタープラン（平成20年8月 福山市）

立地適正化計画での位置づけ

▼都市機能誘導区域



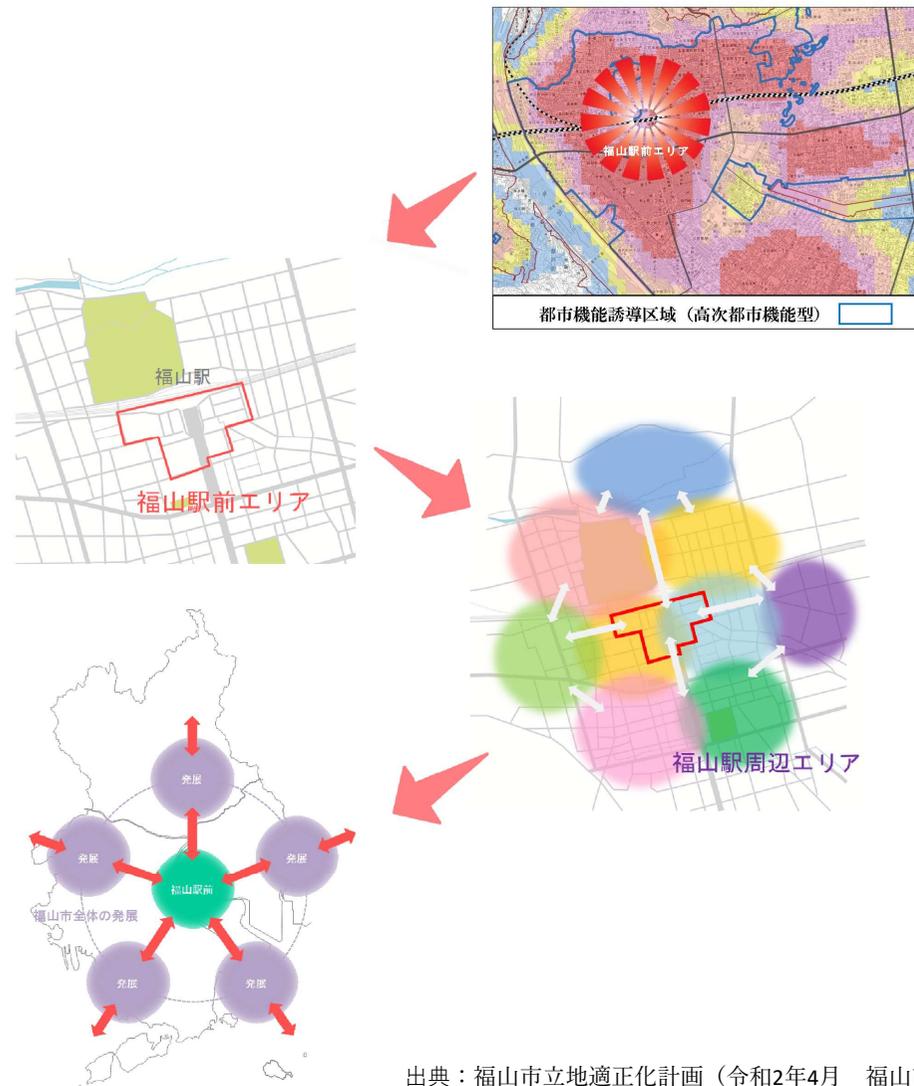
- ◎ 人口の集積度（500m圏人口）を基に4種類の都市機能誘導区域を指定します。
- **高次都市機能型**（商圏人口5,000人以上の区域を含む地域）
拠点性と求心力を備えた高次の都市機能（商業・業務・医療・福祉・文化・交流・サービスなどの広域的都市機能や都心型居住機能）が立地する区域
- **基礎的都市機能型**（商圏人口4,000人～5,000人未満の区域を含む地域など）
鉄道駅や拠点支所周辺などにおいて、一定の人口密度を維持し、基礎的な都市機能（地域の商業・業務・サービスなど）が立地する区域
- **日常的都市機能型**（商圏人口3,000人～4,000人未満の区域を含む地域）
一定の人口密度を維持し、市民の日常生活サービス機能が立地する区域
- **保全型**（商圏人口3,000人未満の地域）
鉄道駅及びバス停周辺などにおいて、人口密度の減少を抑制し、市民の日常生活サービス機能を維持する区域

出典：福山市立地適正化計画（令和2年4月 福山市）

1. 備後圏域中核都市 福山市の都市計画 立地適正化計画での位置づけ

▼高次都市機能の誘導について

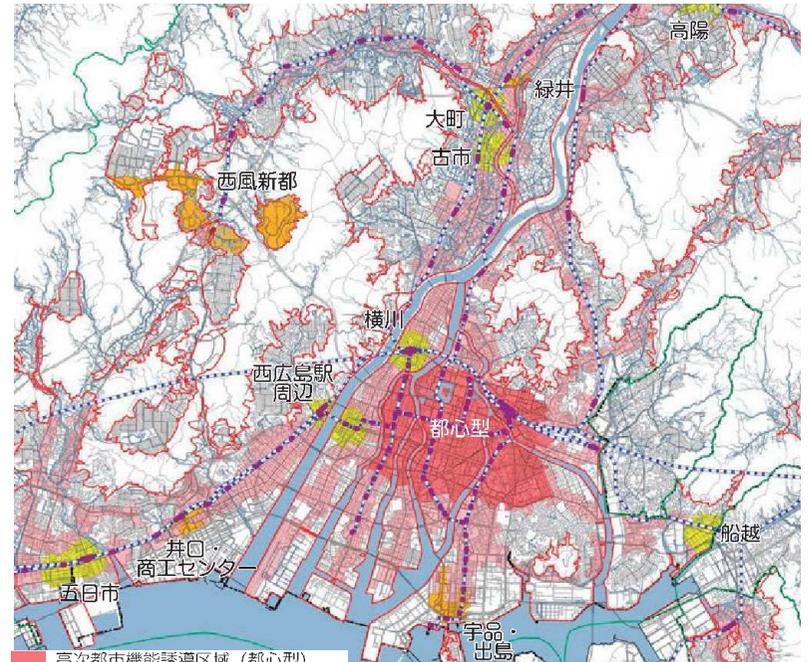
本市の「顔」であり、備後圏域の玄関口でもある福山駅前の魅力の低下は、まちなぎわいの低下に拍車をかけ、大都市圏への若者の流出により、都市の活力減少を加速させることが懸念される。このため、福山駅前を都市機能誘導区域（中央地域）の核に据え、その再生に向け、誘導施策を進める中で、高次都市機能の集積を図る。



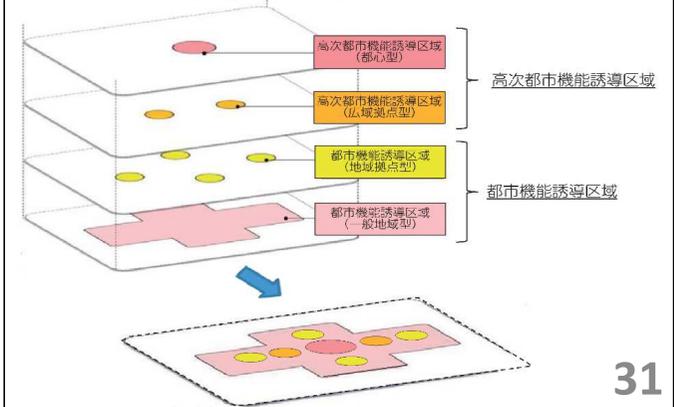
出典：福山市立地適正化計画（令和2年4月 福山市）

（参考）広島市立地適正化計画における都市機能誘導区域

区域区分	誘導する都市機能の基本的な考え方
都市機能誘導区域	
一般地域型	日常生活レベルの都市機能
地域拠点型	行政区レベルで地域の生活者のための都市機能
高次都市機能誘導区域	
広域拠点型	広域的な集客力を持つなどの高次都市機能（都心との役割分担や地区特性などを踏まえ、当該地区での立地がふさわしいもの）
都心型	広域的な集客力を持つなどの高次都市機能（中四国地方のエンジンにふさわしい都市機能を有するもの）



▼階層的な都市機能誘導区域の設定イメージ



出典：広島市立地適正化計画（令和3年2月変更 広島市）

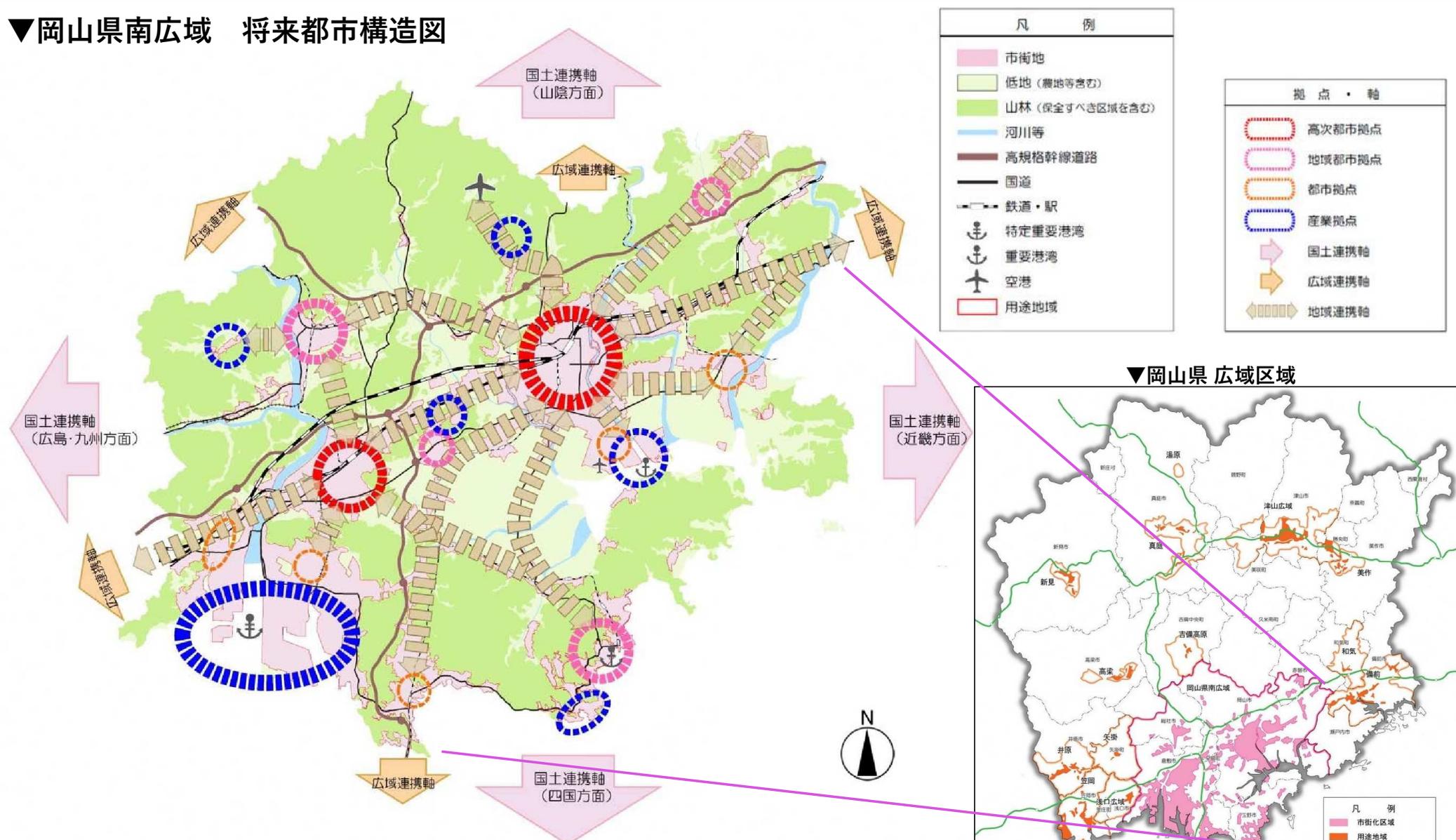
参考：福山市の都市計画における拠点の設定状況

▼備後圏域都市計画マスタープラン、福山市都市マスタープラン、福山市立地適正化計画での拠点の位置づけ

	拠点の名称	拠点の場所	拠点の性格・位置づけ	出典
高次・ 広域 地域 生活・ 地区	中核拠点	福山市中心部	高次都市機能の集積・強化により中国地方全体の発展にあたって中核となる拠点	区域マスタープラン
	都心地区 (高次の都市機能)	(福山駅周辺地区)	拠点性を備えた都市の核となる都心地区 土地の有効利用を促進し、商業・業務・医療・福祉・文化・交流・サービスなどの広域的都市機能や都心型住居の集積を図るとともに交通結節機能を強化	都市マスタープラン
	都市機能誘導区域(高次都市機能型)	(中央)	(商圏人口5千人以上の区域を含む地域) 拠点性と求心力を備えた高次の都市機能(商業・業務・医療・福祉・文化・交流・サービスなどの後期的都市機能や都心型居住機能)が立地する区域	立地適正化計画
	地域拠点 (基礎的な都市機能) (6地区)	鉄道駅や市役所支所周辺など (東部、北部(駅家)、神辺、新市、松永、沼隈)	地域の核となるべき地区 地域の商業・業務・サービスなどの基礎的な都市機能が整った、日常生活圏の暮らしを支える地域の核 ※北部、松永：基礎的都市機能型都市機能誘導区 神辺：日常的都市機能型都市機能誘導区 新市：保全型都市機能誘導区 東部：都市機能誘導区外	都市マスタープラン
	都市機能誘導区域(基礎的都市機能型) (3地区)	松永、山手、駅家	(商圏人口4千人～5千人未満の区域を含む地域など) 鉄道駅や拠点支所周辺などにおいて、一定の人口密度を維持し、基礎的な都市機能(地域の商業・業務・サービスなど)が立地する区域	立地適正化計画
	地域拠点 福山市外 (6地区)	非線引き都市計画区域及び都市計画区域外の町の中心部	都市機能の集積を推進し、中核拠点、広域拠点による都市機能の補完を受けつつも、一定程度の独立性を持つ拠点	区域マスタープラン
	地区拠点 (日常的な生活機能) (14地区)	鉄道駅周辺や郊外住宅地内の近隣商業集積地など	日常生活の核となるべき地区 地区の商業・サービスなどの日常的な生活機能が整った利便地区として維持	都市マスタープラン
	都市機能誘導区域 (日常的都市機能型) (6地区)	大門、道上、神辺駅周辺、御幸、水呑、明王台	(商圏人口3千人～4千人未満の区域を含む地域) 一定の人口密度を維持し、市民の日常的な生活サービス機能が立地する区域	立地適正化計画

参考：岡山県南広域都市計画区域マスタープラン

▼岡山県南広域 将来都市構造図



出典：岡山県南広域都市計画区域MP【将来都市構造図】（令和2年4月 岡山県）

▼岡山県の拠点設定

名称	定義	場所
高次都市拠点	広域的圏域を持ち、高次都市機能の集積が高い市街地	岡山、倉敷
地域都市拠点	市町域程度の圏域を持ち、行政機能などが一定以上集積している市街地	玉野、総社、赤磐、早島
都市拠点	商業施設の集積などが一定以上みられる地域	西大寺、岡南、児島、水島、玉島

参考：西播磨地域都市計画区域マスタープラン

地図出典：地理院地図
 データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・
 インサイトマーケティング（2019年10月平均）

参考図



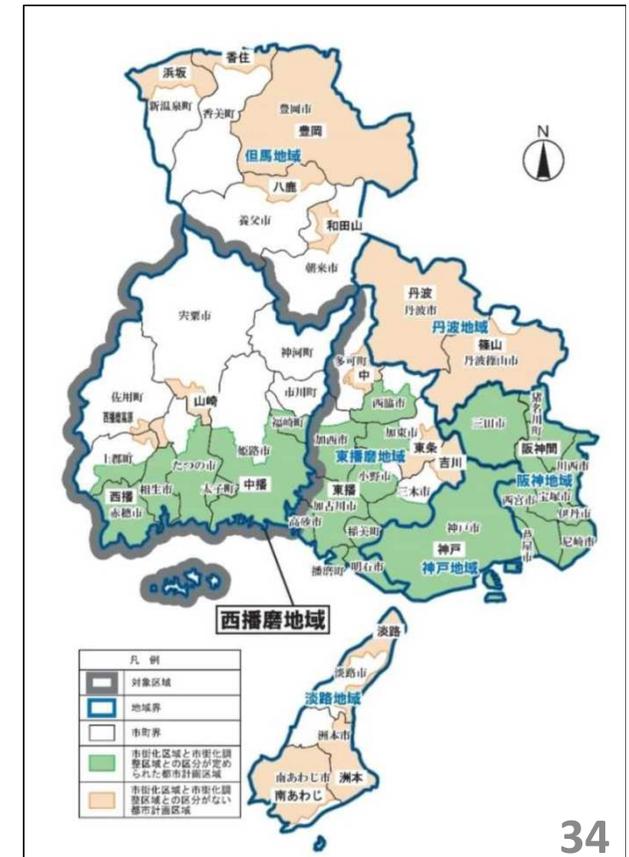
広域都市機能集積地区

- 地域を越える広域的な圏域を持ち、複合的な都市機能の集積度が特に高い神戸市中心部や**姫路市中心部**を広域都市機能集積地区として位置付ける。
- これらの地区においては、特に高度で多様な都市機能を集積するとともに、国際競争力の強化や県を代表する顔としてふさわしい風格のある都市空間の形成を促進する。

地域都市機能集積地区

- 地域全域を対象とした都市機能が一定以上集積する主要な鉄道駅や官公庁周辺等の市街地を地域都市機能集積地区として位置付ける。
- これらの地区においては、広域都市機能集積地区と連携しつつ、広域行政機関、高度医療施設、大規模商業施設等の高度な都市機能を維持・充実させる。

▼地域位置図



出典：西播磨地域都市計画区域マスタープラン（令和3年3月 兵庫県）

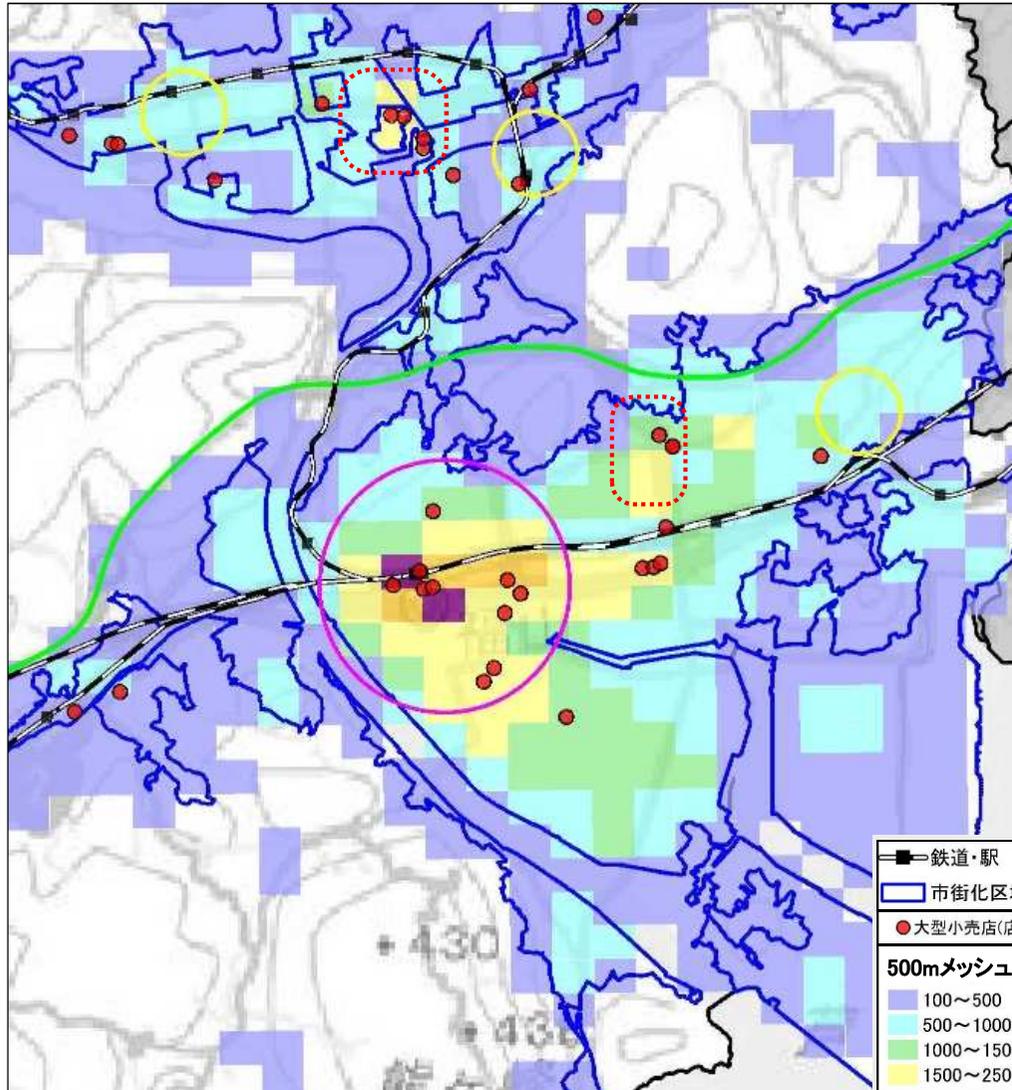
2. 福山市 都市機能誘導区域の特性分析

地図出典：地理院地図
 データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング（2019年10月平均）
 大型小売店出典：大型小売店総覧2020（2019年6月時点立地）

福山市域(拡大) – 滞在人口 現況2019

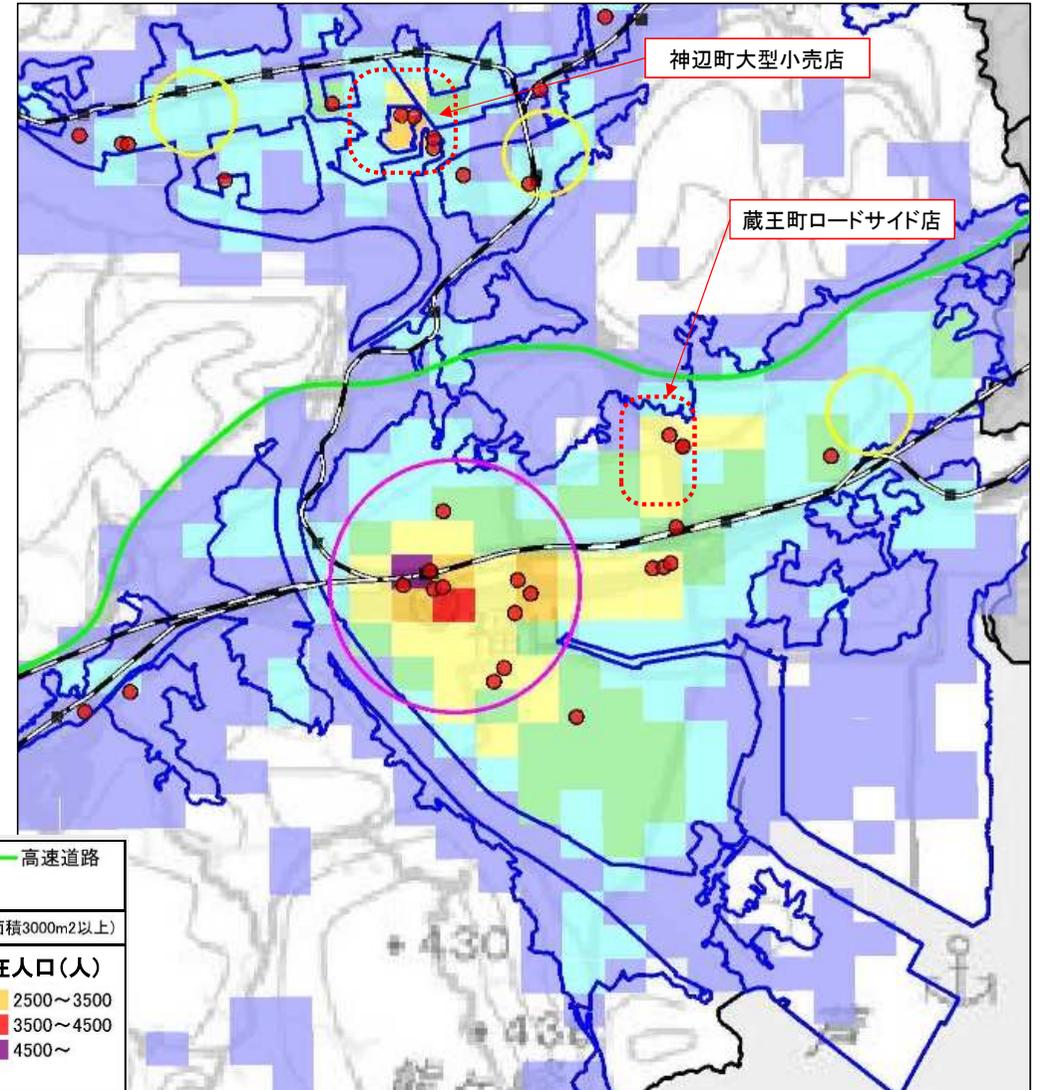
- 福山駅周辺は最も滞在人口が集中。
- 休日は蔵王町・神辺町等のメッシュで滞在人口が集中。幹線道路沿いの大型小売店への集中が考えられる。

【平日14時】



※14時

【休日14時】



※14時

○ 中核拠点	○ 地域拠点
○ 広域拠点	

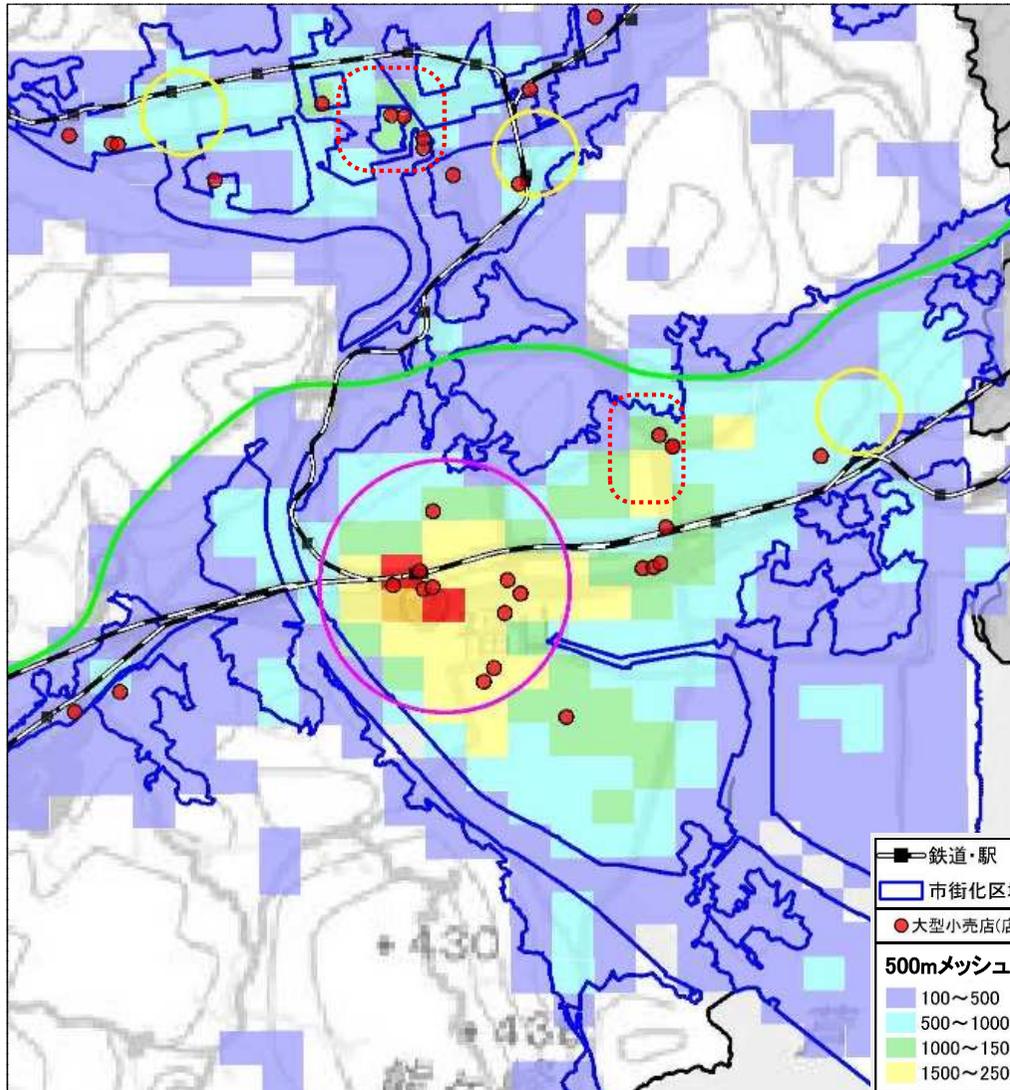
2. 福山市 都市機能誘導区域の特性分析

地図出典：地理院地図
 データ出典：モバイル空間統計/ドコモ・インサイトマーケティング
 (2019年10月平均)を基に広島県で独自推計

福山市域(拡大) - 滞在人口 将来2050推計

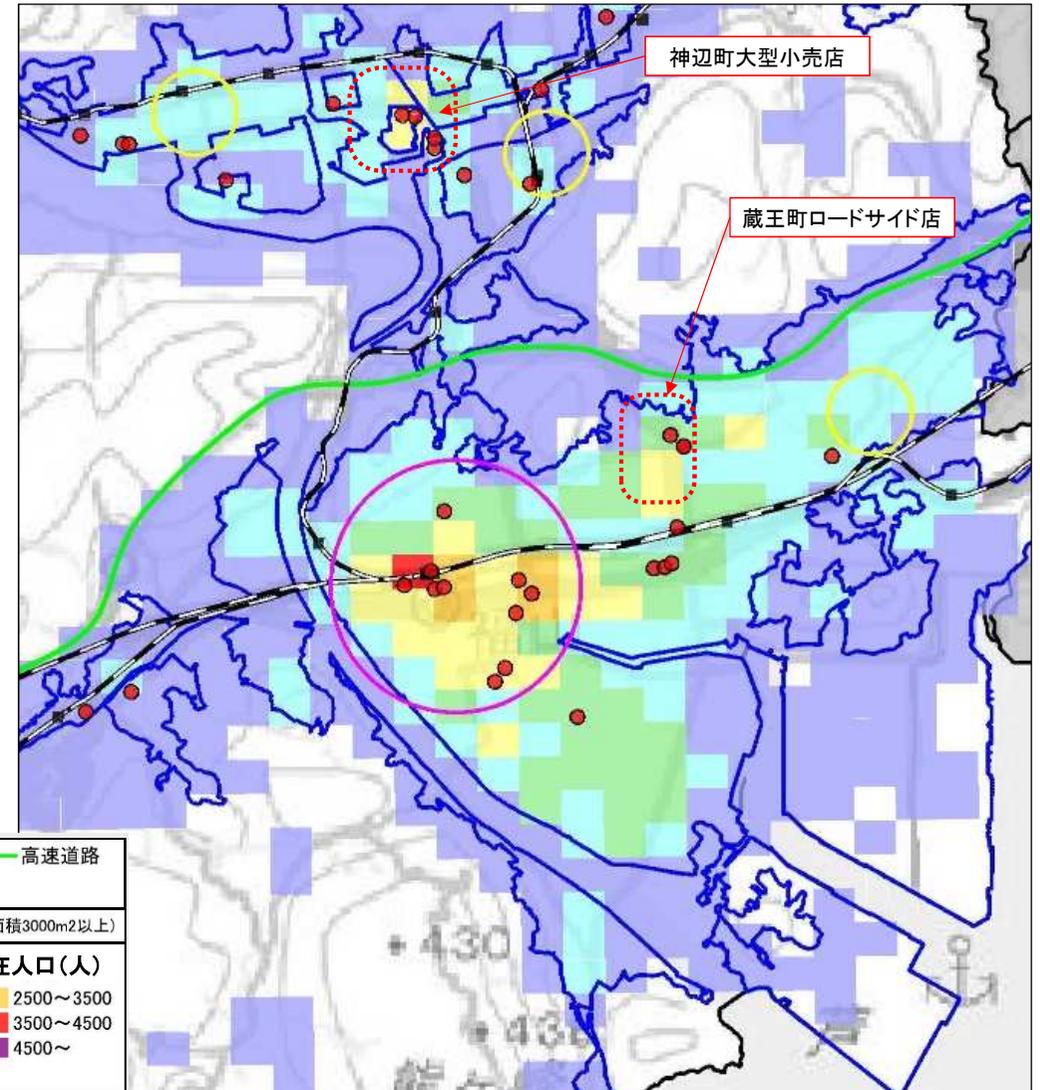
- 福山駅周辺では滞在人口が約1割減少、蔵王町及び神辺町等の幹線道路沿でも同様に減少すると推計。

【平日14時】



※14時

【休日14時】



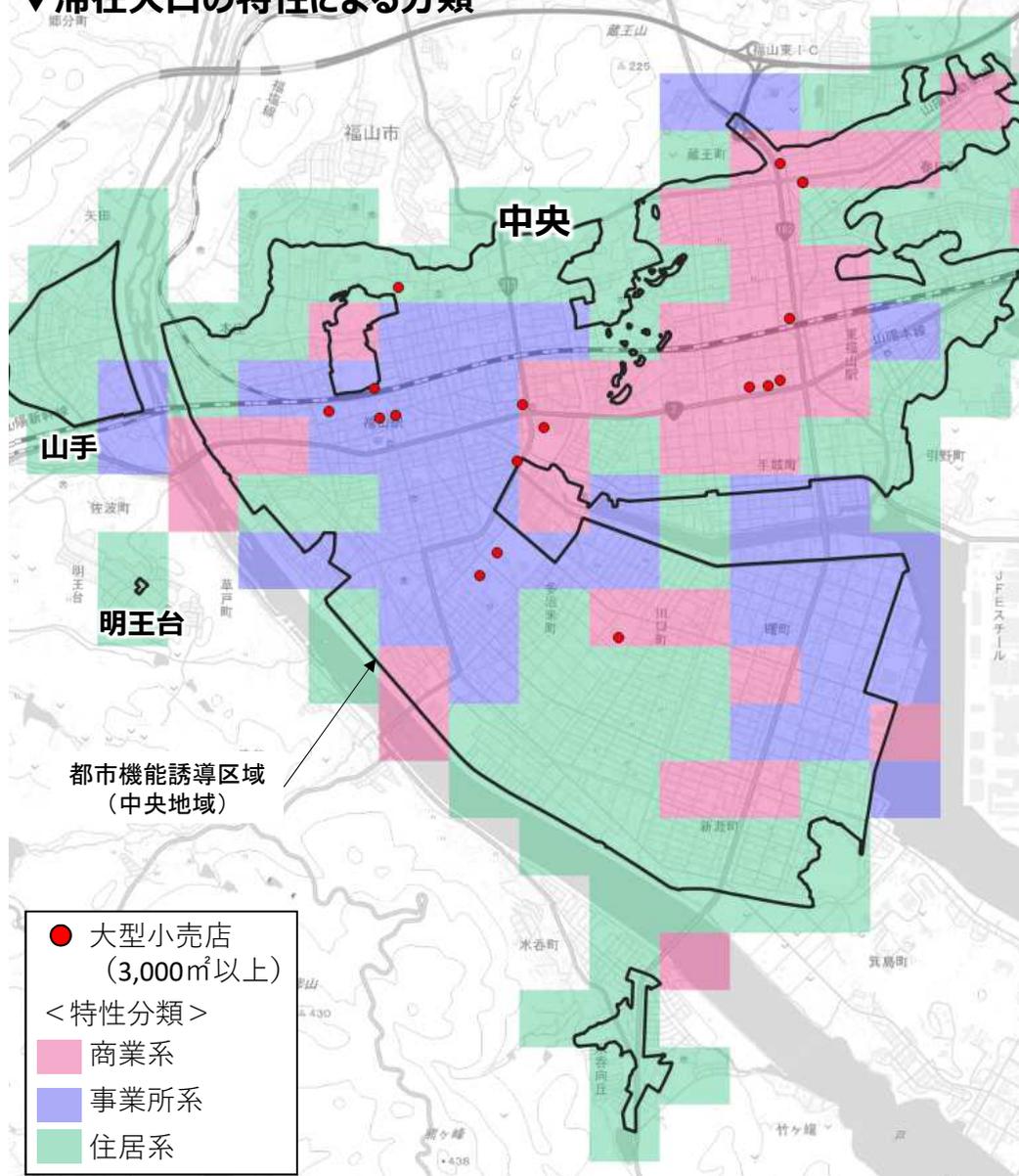
※14時

2. 福山市 都市機能誘導区域の特性分析

滞在人口の特性による分類

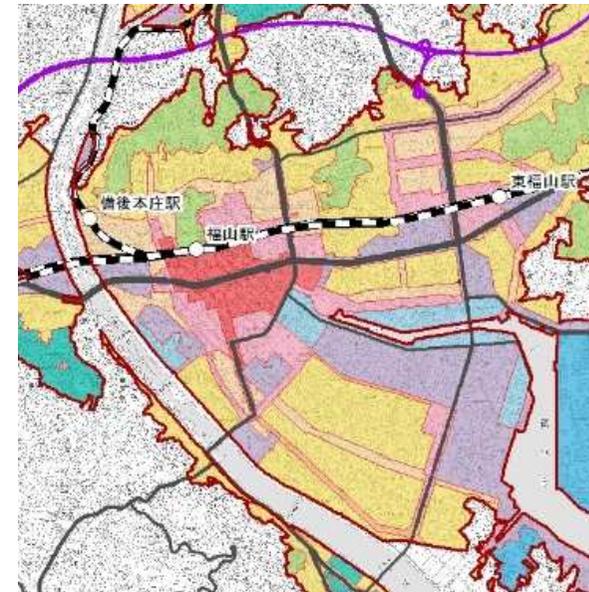
- 滞在人口の時間変動の特徴に応じてメッシュの特性を分類すると、都市機能誘導区域(中央地域)内は特性が混在。
- 福山駅周辺は平日よりも休日の昼間の滞在人口が多い事務所系の特性がある。

▼滞在人口の特性による分類



大型小売店出典：大型小売店総覧2020
(2019年6月時点立地)

▼用途区域の指定状況



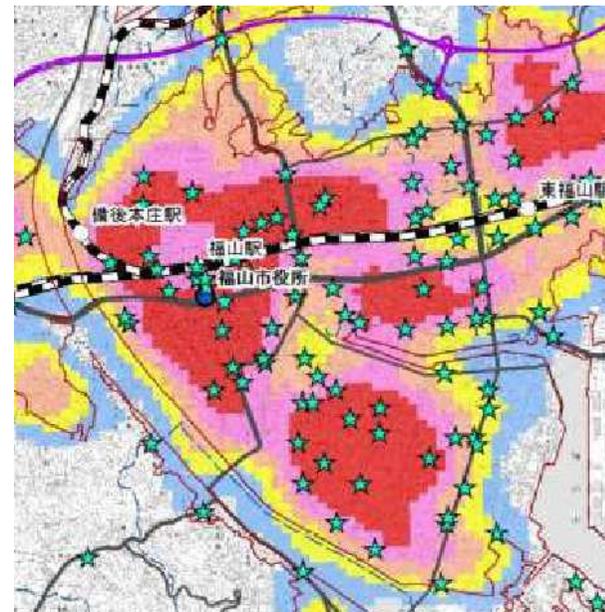
凡例

- 行政区域
- 都市計画区域
- 市街化区域

用途地域

- 第1種低層住居専用地域
- 第2種低層住居専用地域
- 第1種中高層住居専用地域
- 第2種中高層住居専用地域
- 第1種住居地域
- 第2種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

▼商圈人口（2010年）



凡例

- ★ コンビニエンスストア
- 市街化区域
- 都市計画区域
- 行政区域
- 地域区分

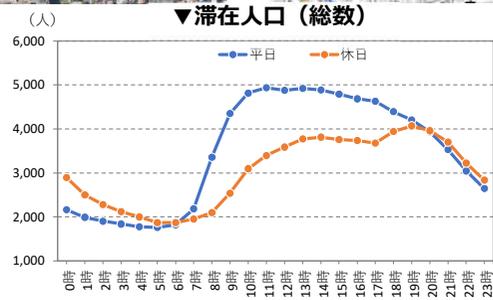
2010年500m商圈人口

- 1000人未満
- 1000人～2000人未満
- 2000人～3000人未満
- 3000人～4000人未満
- 4000人～5000人未満
- 5000人以上

出典：福山市立地適正化計画
(令和2年4月 福山市)より抜粋

事業所系

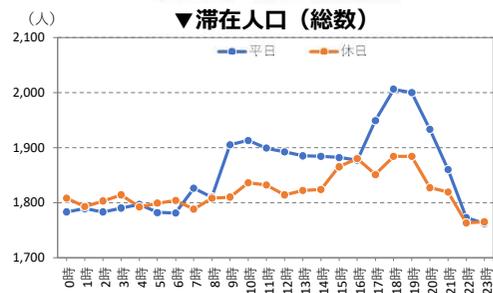
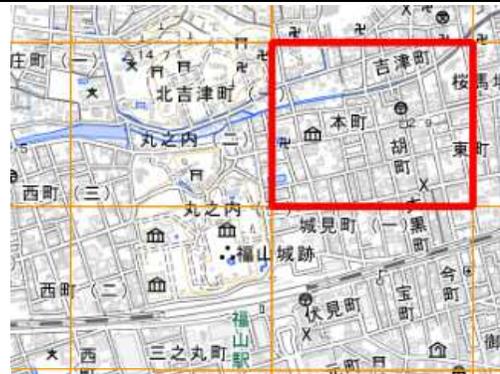
事例①：福山駅南



事例③：福山駅周辺



事例②：福山駅北



▼滞在人口の特性による分類

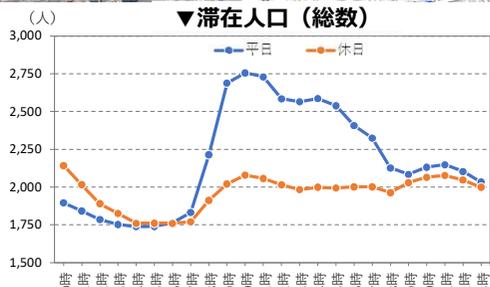
分類	滞在人口での設定		
住居系	夜間	> 平日昼間	かつ
	夜間	> 休日昼間	
商業系	夜間	< 平日昼間	かつ
	夜間	< 休日昼間	かつ
	平日昼間	< 休日昼間	
事業所系	夜間	< 平日昼間	かつ
	夜間	< 休日昼間	かつ
	平日昼間	> 休日昼間	

事業所系

事務所系



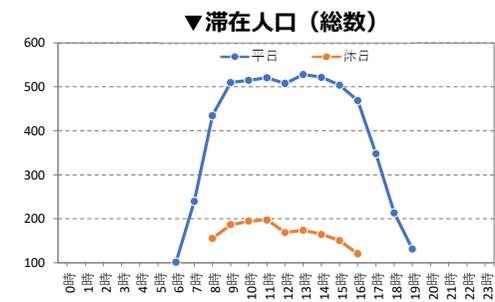
事例④：福山駅東



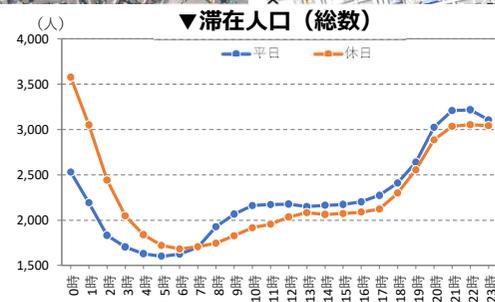
工場系



事例：箕沖



事例⑤：福山駅東南



※平日昼間の滞在人口が多いことから、分類としては事業所系とした。